

資 料 編

(1) 関西国際空港に係る環境監視結果

表2-3-1(1) 二酸化硫黄の測定結果

所在地	測定局	有効測定 日数	測定 時間	年平均値	1時間値が0.1ppm を超えた時間数 とその割合		日平均値が 0.04ppmを超え た日数とその 割合		1時間値 の 最高値	日平均 値の 2%除外 値	日平均値が 0.04ppmを 超えた日が 2日以上連 続したこと の有無	環境基準の 長期的評価 による日平 均値が 0.04ppmを 超えた日数
					(日)	(時間)	(ppm)	(時間)				
泉佐野市	大阪府所管佐野中学校 (羽倉崎)	355	8421	0.002	0	0	0	0	0.013	0.004	○	0
参考値 (大阪府所管一般局)												
高石市	高石中学校	365	8713	0.005	0	0	0	0	0.047	0.011	○	0
岸和田市	岸和田中央公園	362	8622	0.001	0	0	0	0	0.017	0.004	○	0

(注) 1. 大阪府所管佐野中学校については、「大阪府地域大気汚染常時監視測定データファイル」を活用し、平成20年4月1日から平成21年3月31日までのデータを用いた。

表2-3-1(2) 一酸化窒素及び窒素酸化物の測定結果

所在地	測定局	一酸化窒素 (NO)					窒素酸化物 (NO+NO2)					
		有効測定 日数	測定時間	年平均値	1時間値 の最高値	日平均値 の年間 98%値	有効測定 日数	測定時間	年平均値	1時間値 の最高値	日平均値 の年間 98%値	年平均値 NO ₂ (NO+NO ₂)
泉南市	C (りんくう南浜)	356	8522	0.004	0.099	0.022	356	8522	0.019	0.147	0.054	76.6
泉佐野市	大阪府所管佐野中学校 (羽倉崎)	363	8585	0.004	0.112	0.021	363	8585	0.019	0.157	0.054	78.8
阪南市	L-2 (箱 作)	359	8544	0.002	0.078	0.012	359	8543	0.014	0.127	0.039	82.7
参考値 (大阪府所管一般局)												
高石市	高石中学校	364	8675	0.006	0.127	0.026	364	8675	0.026	0.172	0.061	75.2
泉大津市	泉大津市役所	364	8633	0.005	0.127	0.024	364	8633	0.025	0.216	0.063	81.5
貝塚市	貝塚市消防署	348	8261	0.003	0.116	0.017	348	8261	0.017	0.171	0.047	81.1
泉南市	泉南市役所	363	8570	0.005	0.081	0.022	363	8570	0.020	0.127	0.055	76.6
和泉市	緑ヶ丘小学校	361	8542	0.002	0.072	0.010	361	8542	0.012	0.120	0.033	84.2
岸和田市	岸和田中央公園	357	8601	0.005	0.121	0.020	357	8601	0.022	0.178	0.056	76.8
阪南市	南海団地	337	8047	0.001	0.050	0.006	337	8047	0.011	0.094	0.032	89.0
参考値 (大阪府所管自排局)												
泉佐野市	末広公園	363	8661	0.020	0.195	0.058	363	8661	0.041	0.231	0.093	50.3
岸和田市	天の川下水ポンプ場	363	8570	0.019	0.211	0.047	363	8569	0.044	0.296	0.086	57.0
高石市	カモドールMBS	311	7455	0.020	0.192	0.056	311	7455	0.045	0.242	0.097	55.7

(注) 1. 大阪府所管佐野中学校については、「大阪府地域大気汚染常時監視測定データファイル」を活用し、平成20年4月1日から平成21年3月31日までのデータを用いた。

表2-3-1(3) 光化学オキシダントの測定結果

所在地	測定局	昼間	昼間	昼間の1時間値の	昼間の1時間値が		昼間の1時間値が		昼間の1時間値の	昼間の1時間値の
		測定日数	測定時間	年平均値	0.06ppmを超えた日数と時間数		0.12ppm以上の日数と時間数		最高値	最高1時間値の年平均値
		日	時間	ppm	日	時間	日	時間	ppm	ppm
泉佐野市	大阪府所管佐野中学校(羽倉崎)	364	5383	0.033	92	490	0	0	0.119	0.049
参考値(大阪府所管一般局)										
高石市	高石中学校	360	5287	0.032	99	502	1	1	0.124	0.050
泉大津市	泉大津市役所	269	3981	0.032	86	434	2	3	0.122	0.052
貝塚市	貝塚市消防署	362	5357	0.033	98	521	3	4	0.145	0.050
泉南市	泉南市役所	365	5409	0.032	81	430	1	1	0.132	0.048
和泉市	緑ヶ丘小学校	365	5414	0.035	111	601	3	9	0.141	0.052
岸和田市	岸和田中央公園	365	5412	0.032	96	488	2	6	0.132	0.049
阪南市	南海団地	365	5409	0.037	107	586	0	0	0.109	0.052

(注) 1. 大阪府所管佐野中学校については、「大阪府地域大気汚染常時監視測定データファイル」を活用し、平成20年4月1日から平成21年3月31日までのデータを用いた。

表2-3-1(4) 非メタン炭化水素の測定結果

所在地	測定局	測定時間	年平均値	6～9時における年平均値	6～9時測定日数	6～9時3時間平均値		6～9時3時間平均値が0.20ppmCを超えた日数とその割合		6～9時3時間平均値が0.31ppmCを超えた日数とその割合	
						最高値	最低値	日	%	日	%
						ppmC	ppmC				
泉佐野市	大阪府所管佐野中学校(羽倉崎)	7792	0.19	0.21	340	0.58	0.04	164	48.2	34	10.0
参考値(大阪府所管一般局)											
貝塚市	貝塚市消防署	8308	0.17	0.19	364	1.17	0.05	131	36.0	30	8.2
岸和田市	岸和田中央公園	8010	0.18	0.20	351	0.56	0.06	155	44.2	39	11.1
参考値(大阪府所管自排局)											
高石市	カモドールMBS	7737	0.27	0.33	338	1.08	0.05	263	77.8	165	48.8

(注) 1. 大阪府所管佐野中学校については、「大阪府地域大気汚染常時監視測定データファイル」を活用し、平成20年4月1日から平成21年3月31日までのデータを用いた。

表2-3-1(5) メタン及び全炭化水素の測定結果

所在地	測定局	メタン						全炭化水素					
		測定時間	年平均値	6～9時における年平均値	6～9時測定日数	6～9時3時間平均値		測定時間	年平均値	6～9時における年平均値	6～9時測定日数	6～9時3時間平均値	
						最高値	最低値					最高値	最低値
泉佐野市	大阪府所管佐野中学校(羽倉崎)	7792	1.89	1.91	340	2.05	1.73	7792	2.08	2.11	340	2.55	1.88
参考値(大阪府所管一般局)													
貝塚市	貝塚市消防署	8308	1.92	1.93	364	2.06	1.77	8308	2.09	2.13	364	3.15	1.84
岸和田市	岸和田中央公園	8010	1.89	1.91	351	2.05	1.73	8010	2.08	2.11	351	2.61	1.81
参考値(大阪府所管自排局)													
高石市	カモドールMBS	7737	1.93	1.95	338	2.11	1.76	7737	2.20	2.28	338	3.14	1.87

(注) 1. 大阪府所管佐野中学校については、「大阪府地域大気汚染常時監視測定データファイル」を活用し、平成20年4月1日から平成21年3月31日までのデータを用いた。

風向別出現頻度及び風向別平均風速

測定地名：C（りんくう南浜）
期 間：2008年 4月 1日～2009年 3月 31日

項目	方位																合計	
	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	方位数		
出現頻度 (回)	638	748	378	412	383	407	1000	898	477	947	794	757	796	582	366	430	100	5728
出現頻度 (%)	7.2	8.4	4.3	4.7	4.4	4.6	11.5	10.2	5.4	10.8	9.0	8.6	9.0	6.7	4.1	4.9	0.2	100.0
平均風速 (m/s)	3.7	3.9	2.7	2.1	1.9	1.6	1.9	1.4	2.9	2.9	3.2	2.7	3.1	3.3	2.2	3.2	0.3	2.8

注) CALM: 静穏 (風速 0.5 m/s 以下を指す)。

風速図と風向別平均風速

凡例

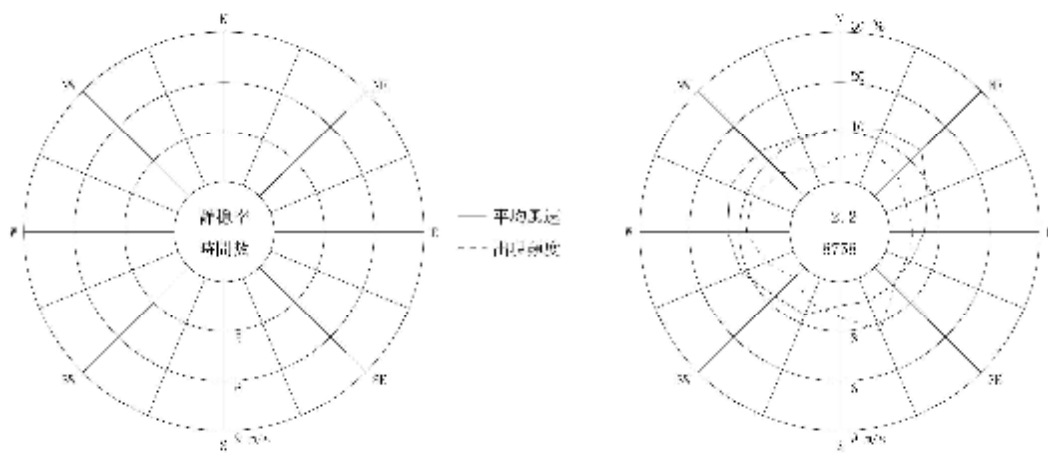


図2-3-1(1-1) 気象（風向・風速）の観測結果

風向別出現頻度及び風向別平均風速

測定局名：大阪府所管佐野中学校局
期 間：2008年 4月 1日～2009年 3月 31日

項目	方位																計	方位	合計
	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WSW	NW	NNE	N			
出現回数 (回)	52	67	67	45	64	88	47	80	78	207	37	78	87	78	57	34		578	
出現頻度 (%)	6.2	7.9	6.8	5.1	6.3	7.3	3.1	4.7	4.8	2.4	4.2	3.1	3.6	3.2	1.9	3.3	2.7	100.0	
平均風速 (m/s)	2.7	2.4	1.9	1.6	1.1	1.1	1.2	1.8	2.3	1.3	1.6	2.3	3.1	2.7	2.3	1.9	0.3	2.0	

(注) CALM: 静穏 (風速 0.5 m/s 以下) を示す。

風向図と風向別平均風速

凡例

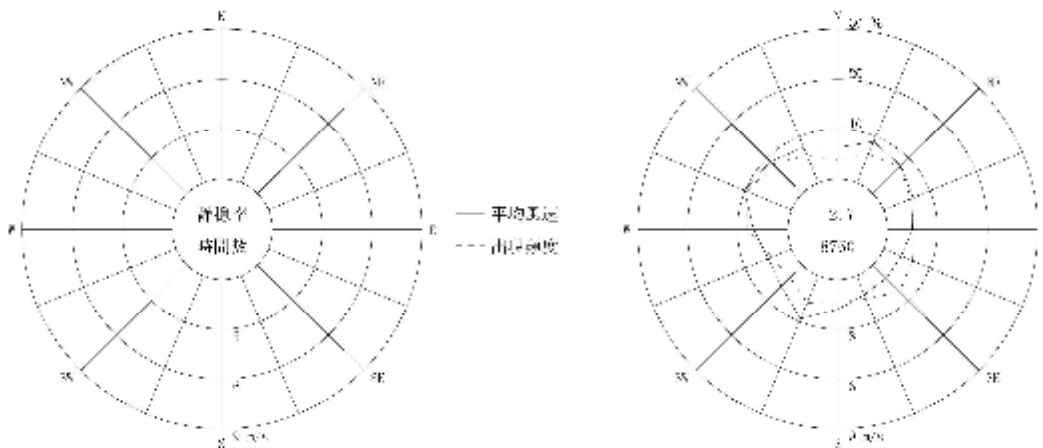


図2-3-1(1-2) 気象（風向・風速）の観測結果

風向別出現頻度及び風向別平均風速

測定点名：L-2（箱作）

期 間：2008年 4月 1日～2009年 3月 31日

項目 \ 方位	NNE	NE	ESE	E	ESE	SE	SSE	S	SSE	SE	ENE	E	ENE	ENE	ENE	ENE	ENE	ENE	ENE	合計
出現回数 (回)	334	390	490	480	473	540	670	807	705	401	300	288	316	672	500	450	341		5757	
出現頻度 (%)	6.1	6.8	8.8	8.2	8.4	9.7	11.3	13.9	11.6	6.4	4.4	4.4	4.4	10.1	7.7	6.7	6.2	6.1	100.0	
平均風速 (m/s)	4.0	3.9	3.2	2.9	2.1	1.8	2.1	2.8	4.2	2.9	3.1	2.9	3.1	4.0	2.9	4.0	3.3		3.3	

注) CALM: 静穏 (風速 0.5 m/s 以下) を示す。

風向図と風向別平均風速

凡例

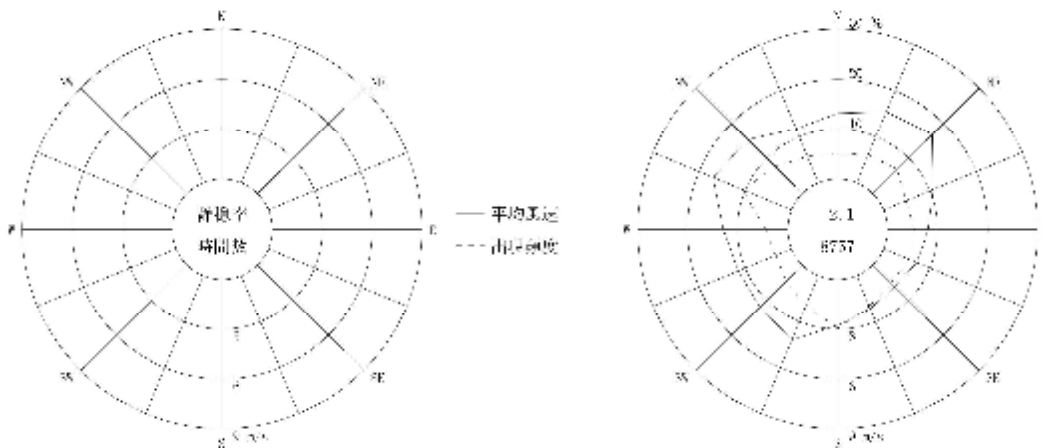
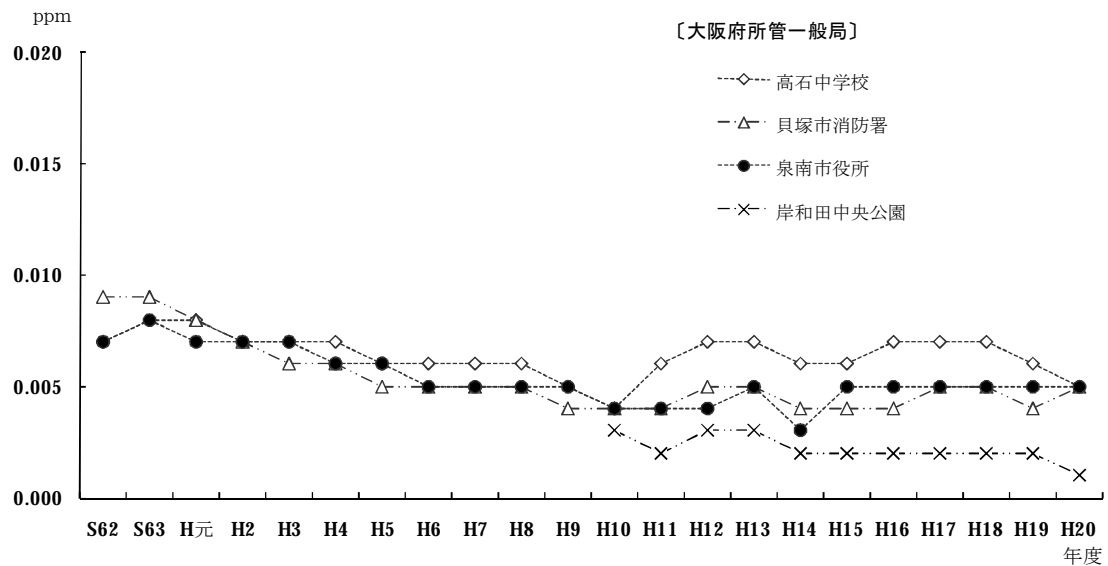
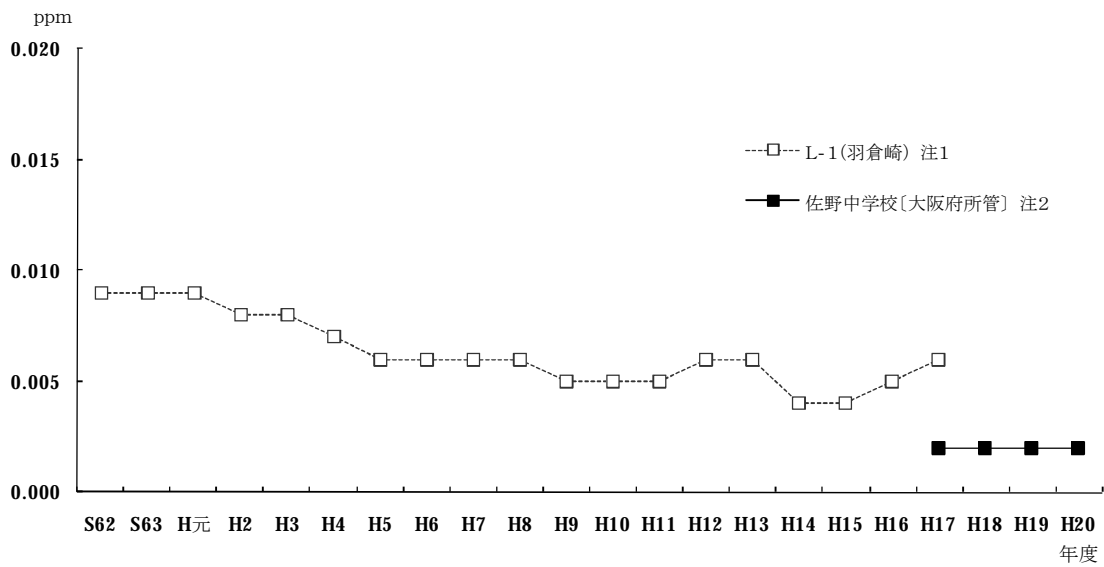
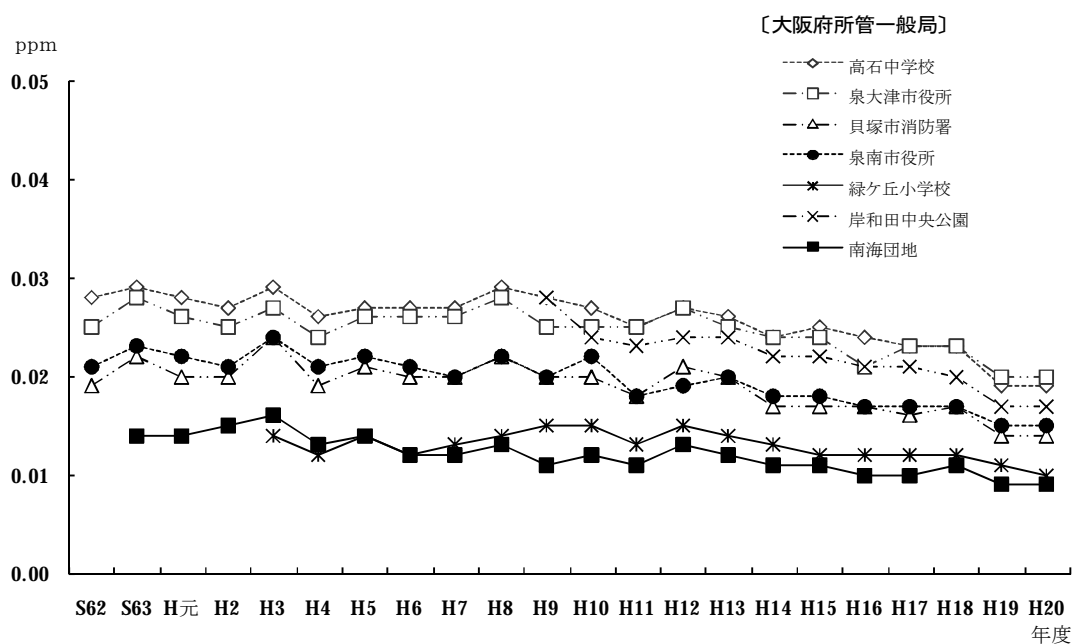
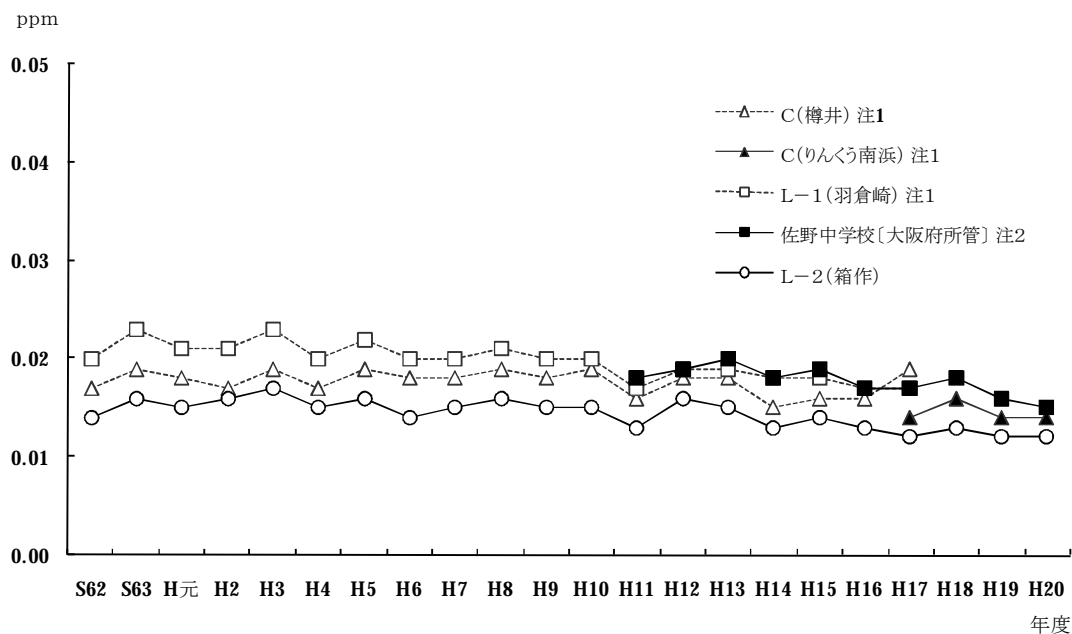


図2-3-1(1-3) 気象（風向・風速）の観測結果



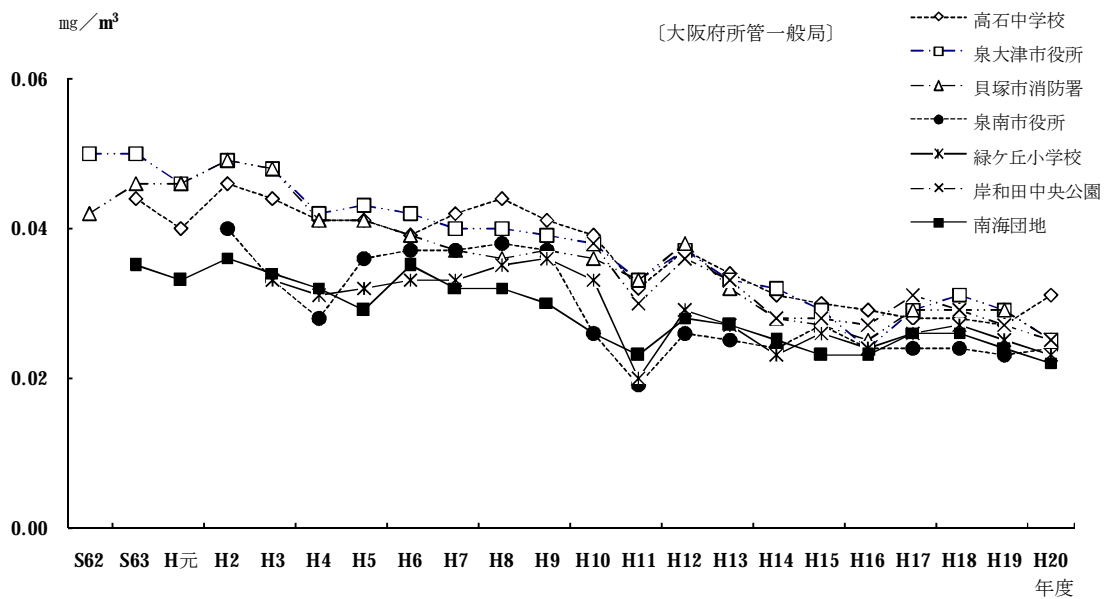
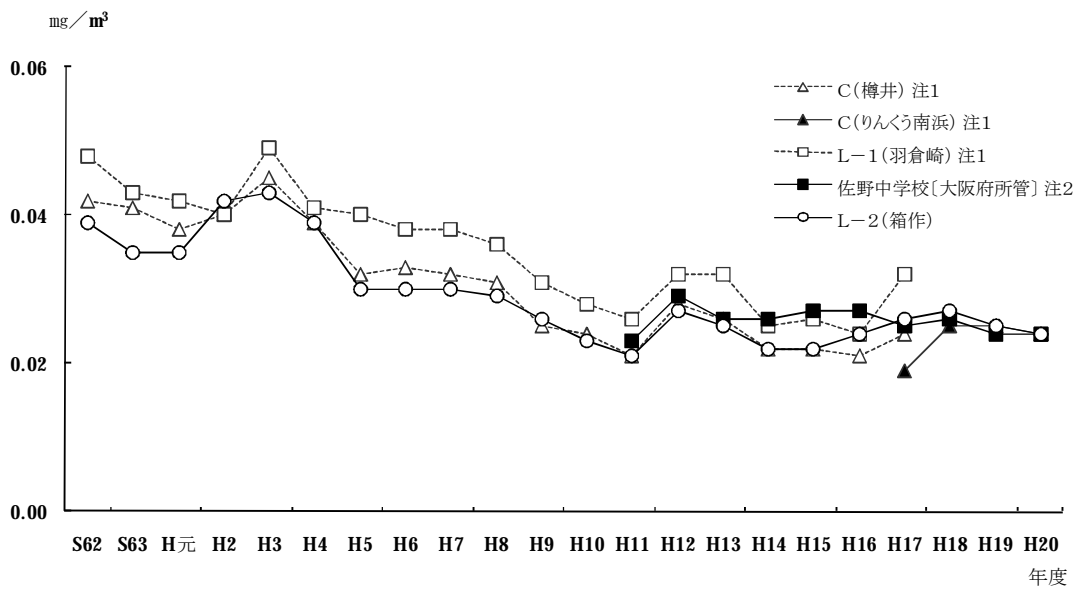
- (注) 1. 測定期間：L-1（羽倉崎）については平成17年9月21日まで。
 2. 大阪府所管佐野中学校局については、「大阪府地域大気汚染常時監視測定データファイル」より、平成17年12月1日から平成21年3月31日までのデータを活用した。

図2-3-1(2) 二酸化硫黄濃度(年平均値)の経年変化



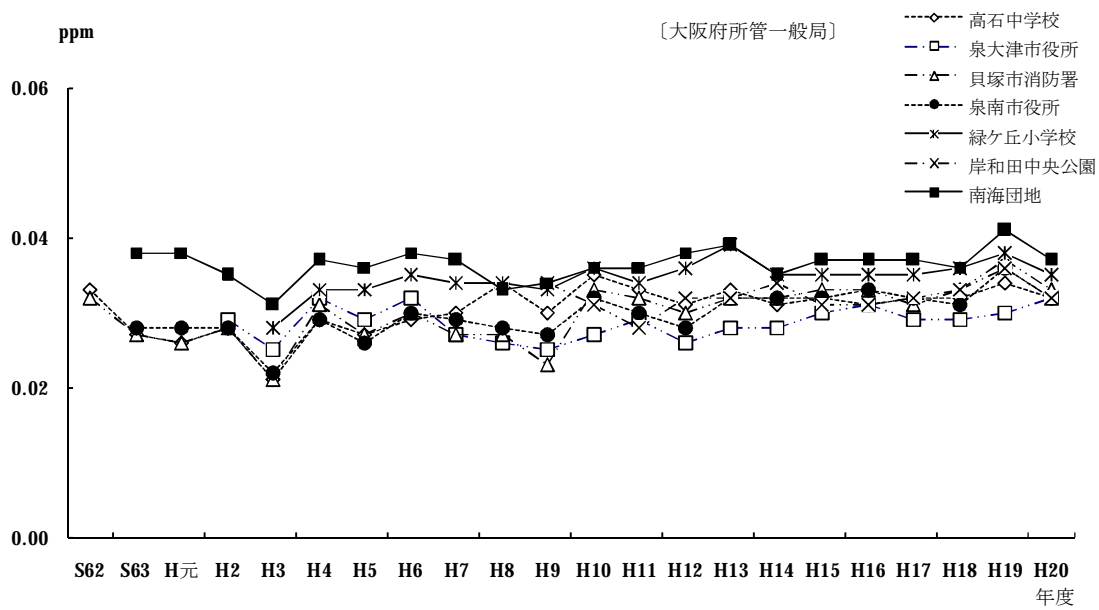
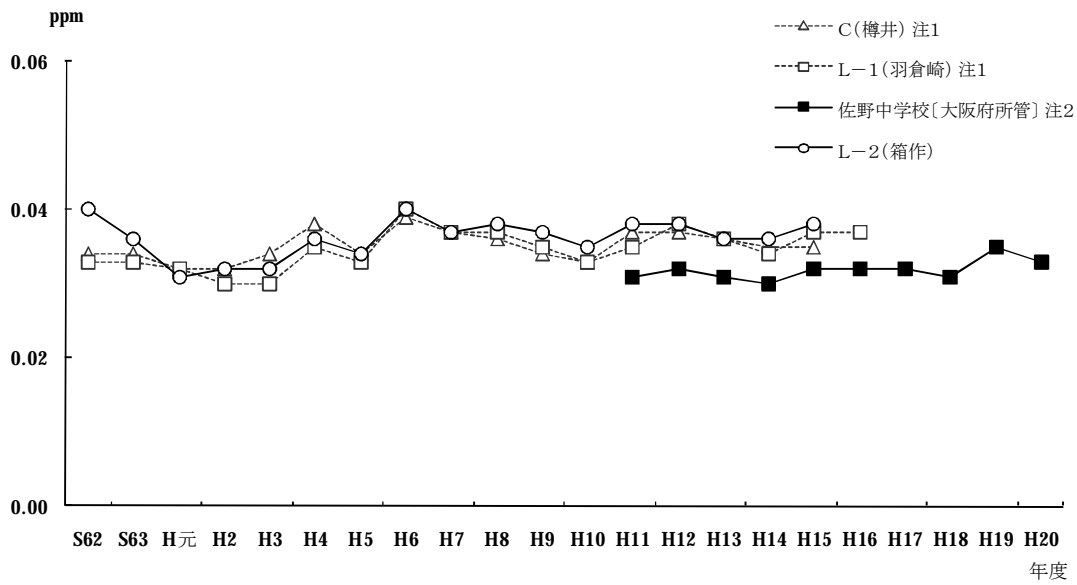
- (注) 1. 測定期間：C（樽井）は平成17年6月9日まで、C（りんくう南浜）は平成17年6月16日から、L-1（羽倉崎）は平成17年9月21日まで。
2. 大阪府所管佐野中学校局については、「大阪府地域大気汚染常時監視測定データファイル」より、平成17年度から平成20年度までのデータを活用した。

図2-3-1(3) 二酸化窒素濃度(年平均値)の経年変化



- (注) 1. 測定期間：C（樽井）は平成17年6月9日まで、C（りんくう南浜）は平成17年6月16日から、L-1（羽倉崎）は平成17年9月21日まで。
2. 大阪府所管佐野中学校局については、「大阪府地域大気汚染常時監視測定データファイル」より、平成17年度から平成20年度までのデータを活用した。

図2-3-1(4) 浮遊粒子状物質濃度(年平均値)の経年変化



(注) 1. 測定期間：C（樽井）及びL-2（箱作）は平成15年まで、L-1（羽倉崎）は平成16年まで。
 2. 大阪府所管佐野中学校局については、「大阪府地域大気汚染常時監視測定データファイル」より、平成17年度から平成20年度までのデータを活用した。

図2-3-1(5) 光化学オキシダント濃度(昼間の1時間値の年平均値)の経年変化

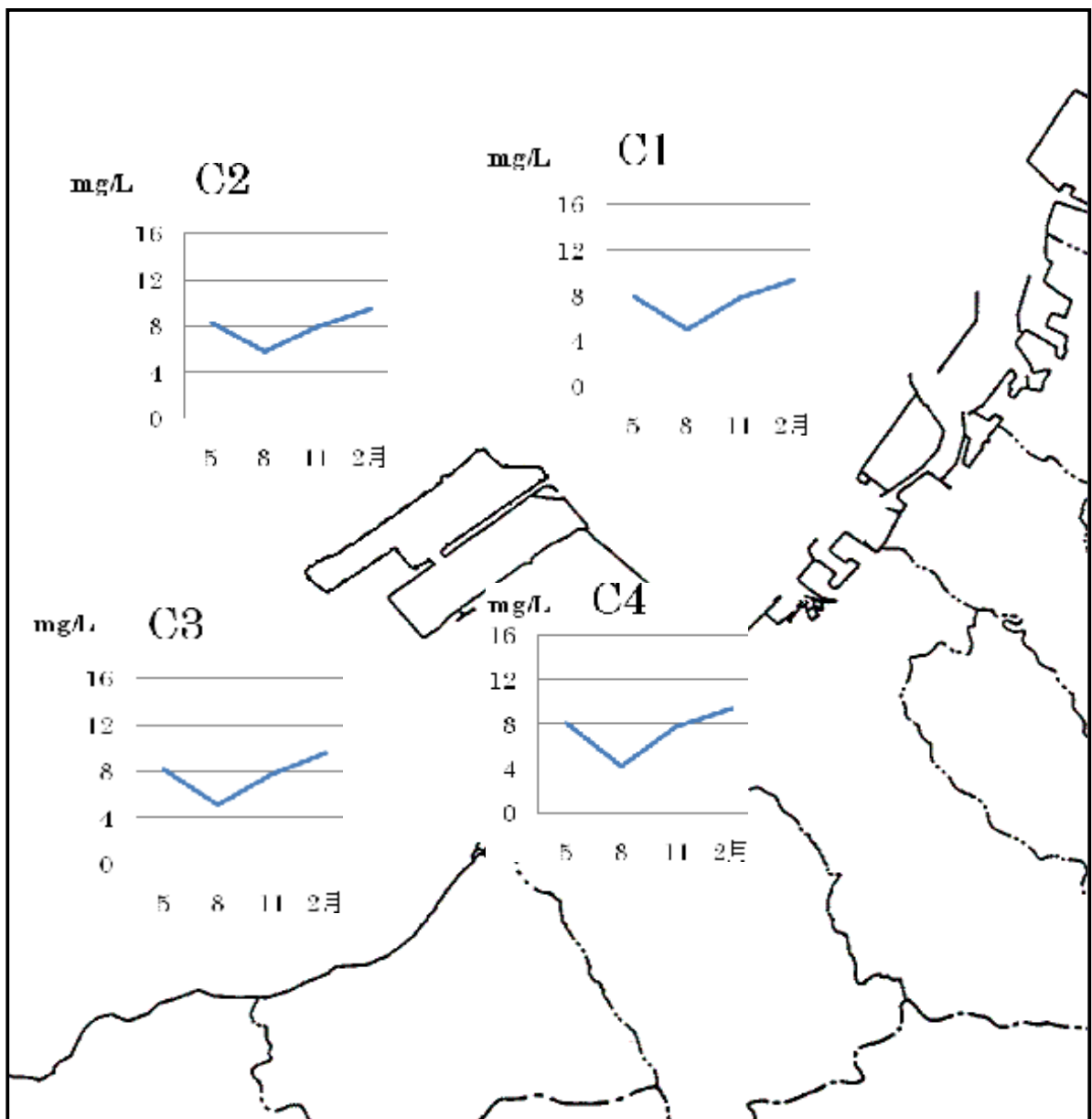


図2-3-2(1) 周辺海域の溶存酸素量（下層）の経月変化（四季調査結果）

表2-3-2(1) 海域水質の経年測定結果 (COD)

COD (mg/L)		C 1			C 2			C 3			C 4		
	層	最小	最大	平均値	最小	最大	平均値	最小	最大	平均値	最小	最大	平均値
平成11年度	上層	1.5	3.8	2.3	1.5	3.4	2.2	1.5	3.3	2.2	1.6	3.6	2.4
	下層	1.5	2.5	1.9	1.4	2.2	1.8	1.4	2.2	1.8	1.7	2.6	2.1
平成12年度	上層	1.7	2.9	2.1	1.6	2.4	2.0	1.7	3.0	2.0	1.7	2.8	2.2
	下層	1.6	2.3	1.8	1.5	2.4	1.8	1.5	2.2	1.7	1.6	2.6	1.9
平成13年度	上層	1.6	3.7	2.5	1.7	3.8	2.4	1.6	3.5	2.2	1.7	3.7	2.5
	下層	1.5	2.6	1.7	1.6	2.4	1.9	1.5	2.3	2.0	1.8	2.8	2.1
平成14年度	上層	1.7	5.5	2.9	1.8	3.6	2.5	1.7	2.7	2.3	1.7	3.6	2.7
	下層	1.5	2.5	2.0	1.7	2.5	2.0	1.7	2.7	2.1	1.9	3.4	2.4
平成15年度	上層	2.1	5.8	3.1	2.0	3.3	2.7	2.0	3.2	2.6	2.1	5.7	3.0
	下層	1.7	2.7	2.2	1.7	2.3	2.0	1.6	2.8	2.2	1.9	3.3	2.3
平成16年度	上層	2.2	5.3	3.3	1.8	3.5	2.6	1.7	3.5	2.7	2.2	4.3	3.2
	下層	1.6	2.2	1.9	1.6	2.4	1.9	1.6	2.7	2.2	1.9	3.2	2.3
平成17年度	上層	1.9	4.8	2.8	1.8	3.6	2.5	1.9	3.5	2.4	1.8	3.7	2.6
	下層	1.5	2.5	2.0	1.2	2.2	1.8	1.6	2.3	1.9	1.4	2.5	2.0
平成18年度	上層	1.8	3.7	2.7	1.5	3.1	2.1	1.6	3.0	2.3	1.9	3.1	2.5
	下層	1.4	2.2	1.7	1.5	2.3	1.8	1.9	2.2	2.0	1.8	2.6	2.2
平成19年度	上層	1.6	4.0	2.9	1.5	3.0	2.4	1.5	3.5	2.4	1.4	3.2	2.5
	下層	1.3	2.3	1.8	1.5	2.4	1.9	1.2	2.4	1.8	1.1	2.4	1.8
平成20年度	上層	1.8	4.3	3.0	1.3	4.2	2.7	1.6	3.9	2.7	1.7	4.6	2.9
	下層	1.6	2.5	2.2	1.4	2.9	2.3	1.7	2.6	2.3	2.0	2.7	2.5

COD (mg/L)		N 1			N 2			N 3		
	層	最小	最大	平均値	最小	最大	平均値	最小	最大	平均値
平成18年度	上層	1.7	3.5	2.6	1.7	3.5	2.7	1.4	3.1	2.5
	下層	1.2	2.3	1.7	1.2	2.4	1.9	1.8	2.5	2.2
平成19年度	上層	1.3	3.2	2.6	1.4	3.3	2.6	1.2	3.3	2.6
	下層	1.5	2.3	1.8	1.2	2.3	1.8	1.6	2.5	2.1
平成20年度	上層	2.0	4.6	2.8	1.9	4.5	2.8	1.7	2.5	2.1
	下層	1.5	2.6	2.1	1.6	2.2	2.0	1.4	2.4	1.9

表2-3-2(2) 海域水質の経年測定結果 (DO)

DO (mg/L)		C 1			C 2			C 3			C 4		
	層	最小	最大	平均値	最小	最大	平均値	最小	最大	平均値	最小	最大	平均値
平成11年度	上層	7.1	10	8.9	7.2	10	8.7	6.4	11	8.7	6.3	10	8.9
	下層	4.6	10	7.0	4.7	9.9	7.1	4.7	10	7.1	3.5	9.8	6.7
平成12年度	上層	7.3	11	9.0	6.5	11	8.7	5.9	11	8.6	6.6	11	8.8
	下層	4.7	11	7.7	5.5	11	7.8	5.8	9.7	7.7	2.9	11	7.5
平成13年度	上層	6.8	12	9.2	7.1	11	8.8	6.6	11	8.7	7.0	11	9.0
	下層	4.6	9.8	7.2	4.9	10	7.3	4.9	10	7.4	4.5	10	7.1
平成14年度	上層	7.3	14	10	7.0	12	9.1	5.4	12	8.8	7.2	12	9.3
	下層	1.1	9.8	6.8	1.7	10	7.0	2.0	10	7.5	4.6	11	7.8
平成15年度	上層	7.4	14	9.6	7.3	11	8.9	7.3	12	9.1	7.2	13	9.4
	下層	5.2	9.8	7.7	4.6	10	7.5	4.7	12	7.9	3.8	11	7.5
平成16年度	上層	6.9	15	10	6.7	11	8.8	5.9	13	8.9	7.4	13	9.3
	下層	5.1	10	7.4	5.3	10	7.5	4.5	10	7.3	4.7	10	7.3
平成17年度	上層	6.4	11	9.1	6.3	11	8.7	6.2	10	8.6	6.1	10	8.9
	下層	5.0	9.8	7.4	5.6	9.8	7.5	5.5	9.8	7.5	5.5	9.9	7.4
平成18年度	上層	7.6	10	8.7	7.5	9.8	8.6	7.7	9.6	8.8	7.7	10	9.0
	下層	2.0	9.0	6.6	5.3	8.1	7.2	3.6	8.3	6.9	3.7	8.6	6.8
平成19年度	上層	7.6	13	11	7.8	11	9.4	7.6	12	9.9	7.3	12	10
	下層	3.6	11	7.5	5.4	11	8.2	5.7	12	8.2	6.9	12	8.4
平成20年度	上層	7.9	9.8	8.7	7.8	9.9	8.7	7.0	9.7	8.4	7.7	9.8	8.6
	下層	5.0	9.4	7.5	5.8	9.5	7.9	5.1	9.6	7.7	4.2	9.4	7.4

DO (mg/L)		N 1			N 2			N 3		
	層	最小	最大	平均値	最小	最大	平均値	最小	最大	平均値
平成18年度	上層	7.6	10	8.6	6.4	10	8.4	7.4	9.7	8.8
	下層	3.0	8.0	6.5	2.6	8.7	6.2	3.1	8.9	6.6
平成19年度	上層	6.9	13	9.9	6.8	12	9.4	7.5	11	9.2
	下層	5.4	10	7.5	4.4	11	7.5	5.0	11	7.8
平成20年度	上層	7.4	9.9	8.8	6.3	9.9	8.4	6.4	9.9	8.2
	下層	5.8	9.4	7.6	3.2	9.2	6.6	3.9	9.6	7.5

表2-3-2(3) 海域水質の経年測定結果 (T-N・上層)

T-N (mg/L)	C 1			C 2			C 3			C 4		
	最小	最大	平均値	最小	最大	平均値	最小	最大	平均値	最小	最大	平均値
平成11年度	0.29	0.55	0.39	0.26	0.46	0.36	0.18	0.46	0.34	0.35	0.64	0.44
平成12年度	0.27	0.59	0.37	0.26	0.43	0.35	0.29	0.48	0.35	0.26	0.71	0.42
平成13年度	0.20	0.56	0.37	0.23	0.49	0.35	0.22	0.40	0.33	0.25	0.54	0.38
平成14年度	0.26	0.59	0.38	0.28	0.46	0.35	0.24	0.39	0.29	0.28	0.48	0.38
平成15年度	0.19	0.37	0.29	0.18	0.40	0.28	0.15	0.36	0.27	0.20	0.55	0.34
平成16年度	0.24	0.49	0.33	0.22	0.36	0.27	0.21	0.33	0.28	0.24	0.53	0.33
平成17年度	0.15	0.33	0.23	0.13	0.34	0.22	0.15	0.35	0.23	0.17	0.40	0.25
平成18年度	0.28	0.37	0.34	0.24	0.28	0.26	0.21	0.28	0.25	0.18	0.36	0.27
平成19年度	0.26	0.40	0.32	0.25	0.30	0.28	0.23	0.33	0.28	0.27	0.40	0.32
平成20年度	0.21	0.43	0.29	0.20	0.36	0.28	0.20	0.37	0.28	0.20	0.42	0.30

T-N (mg/L)	N 1			N 2			N 3		
	最小	最大	平均値	最小	最大	平均値	最小	最大	平均値
平成18年度	0.23	0.34	0.28	0.24	0.42	0.24	0.21	0.34	0.26
平成19年度	0.31	0.71	0.41	0.24	0.37	0.31	0.21	0.25	0.23
平成20年度	0.23	0.43	0.31	0.26	0.46	0.32	0.21	0.35	0.27

表2-3-2(4) 海域水質の経年測定結果 (T-P・上層)

T-P (mg/L)	C 1			C 2			C 3			C 4		
	最小	最大	平均値	最小	最大	平均値	最小	最大	平均値	最小	最大	平均値
平成11年度	0.023	0.050	0.032	0.018	0.046	0.029	0.020	0.040	0.029	0.021	0.056	0.034
平成12年度	0.018	0.038	0.029	0.018	0.037	0.029	0.019	0.048	0.030	0.020	0.050	0.032
平成13年度	0.017	0.061	0.035	0.019	0.054	0.033	0.022	0.056	0.035	0.017	0.064	0.037
平成14年度	0.018	0.045	0.032	0.016	0.041	0.031	0.020	0.042	0.029	0.022	0.041	0.031
平成15年度	0.011	0.053	0.031	0.012	0.044	0.029	0.008	0.041	0.030	0.011	0.046	0.032
平成16年度	0.021	0.054	0.037	0.024	0.045	0.034	0.025	0.046	0.035	0.026	0.055	0.037
平成17年度	0.018	0.056	0.033	0.016	0.054	0.030	0.018	0.043	0.032	0.018	0.053	0.034
平成18年度	0.023	0.030	0.027	0.019	0.032	0.026	0.019	0.035	0.024	0.019	0.033	0.027
平成19年度	0.032	0.043	0.038	0.024	0.034	0.030	0.028	0.036	0.032	0.032	0.037	0.034
平成20年度	0.014	0.050	0.039	0.014	0.038	0.030	0.019	0.041	0.030	0.021	0.050	0.038

T-P (mg/L)	N 1			N 2			N 3		
	最小	最大	平均値	最小	最大	平均値	最小	最大	平均値
平成18年度	0.023	0.033	0.030	0.025	0.041	0.030	0.021	0.061	0.034
平成19年度	0.028	0.043	0.033	0.026	0.044	0.036	0.021	0.038	0.029
平成20年度	0.013	0.039	0.032	0.016	0.046	0.037	0.012	0.038	0.030

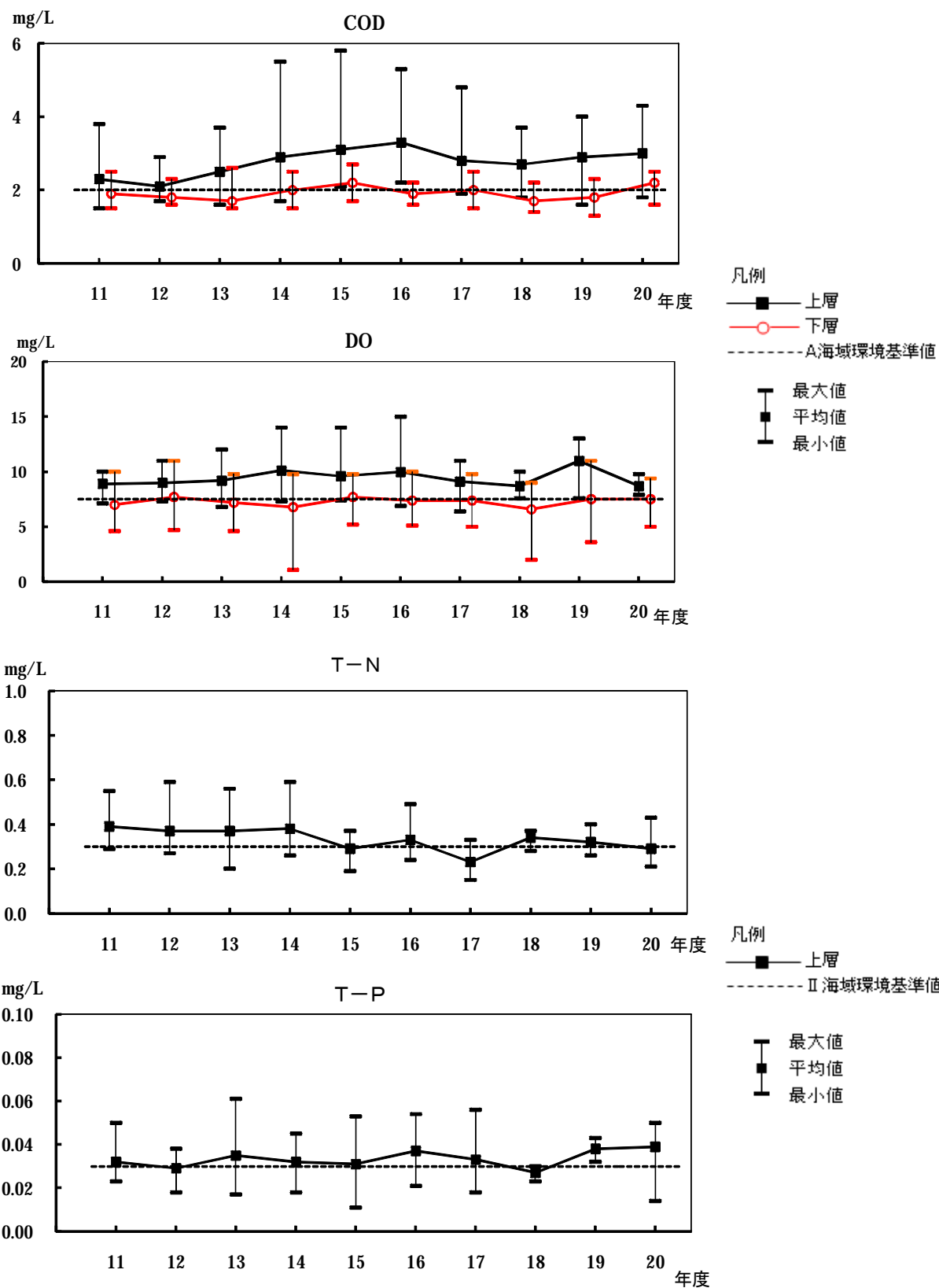


図2-3-2(2-1) 海域水質の経年測定結果 (C1)

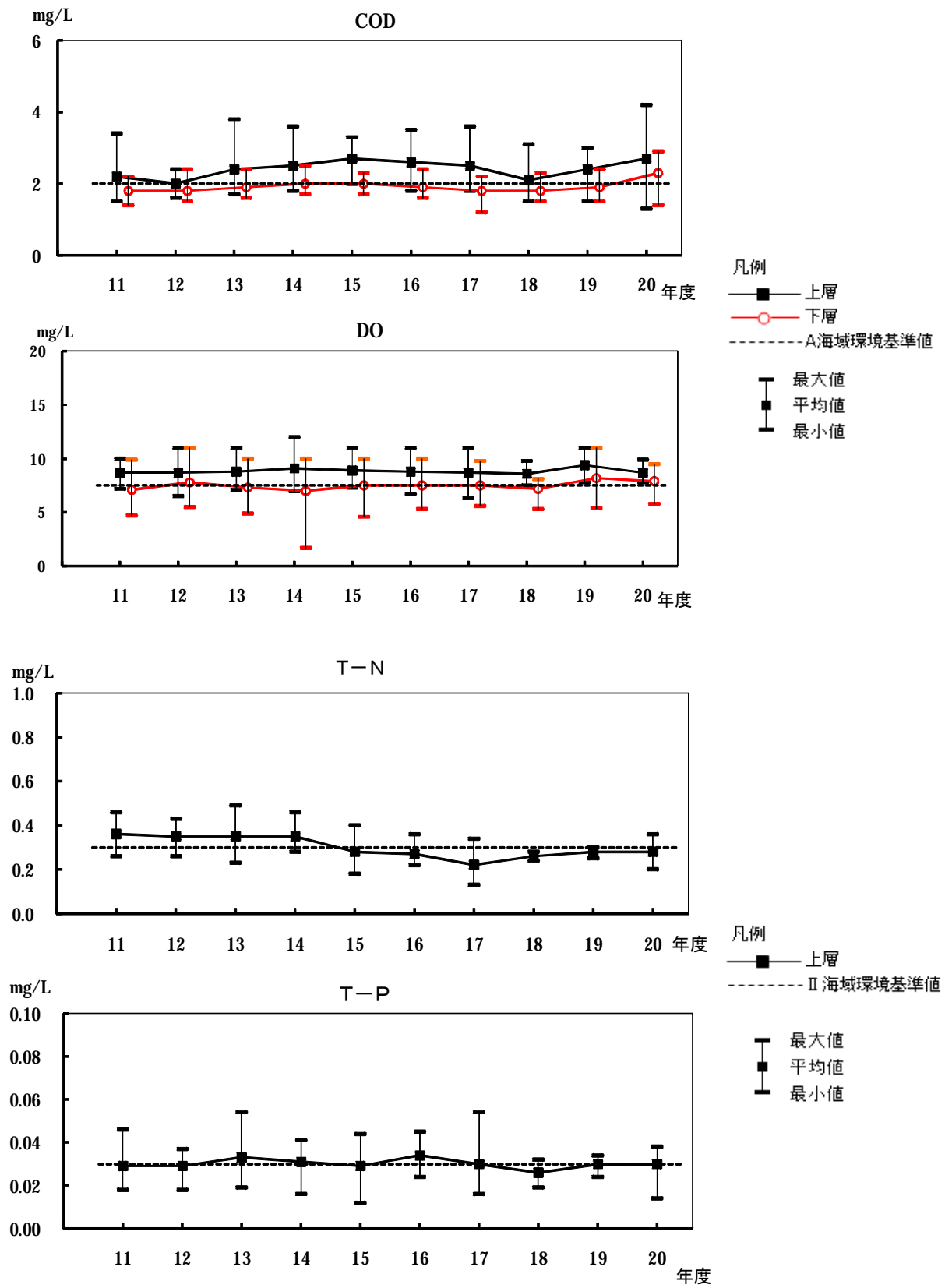


図2-3-2(2-2) 海域水質の経年測定結果 (C2)

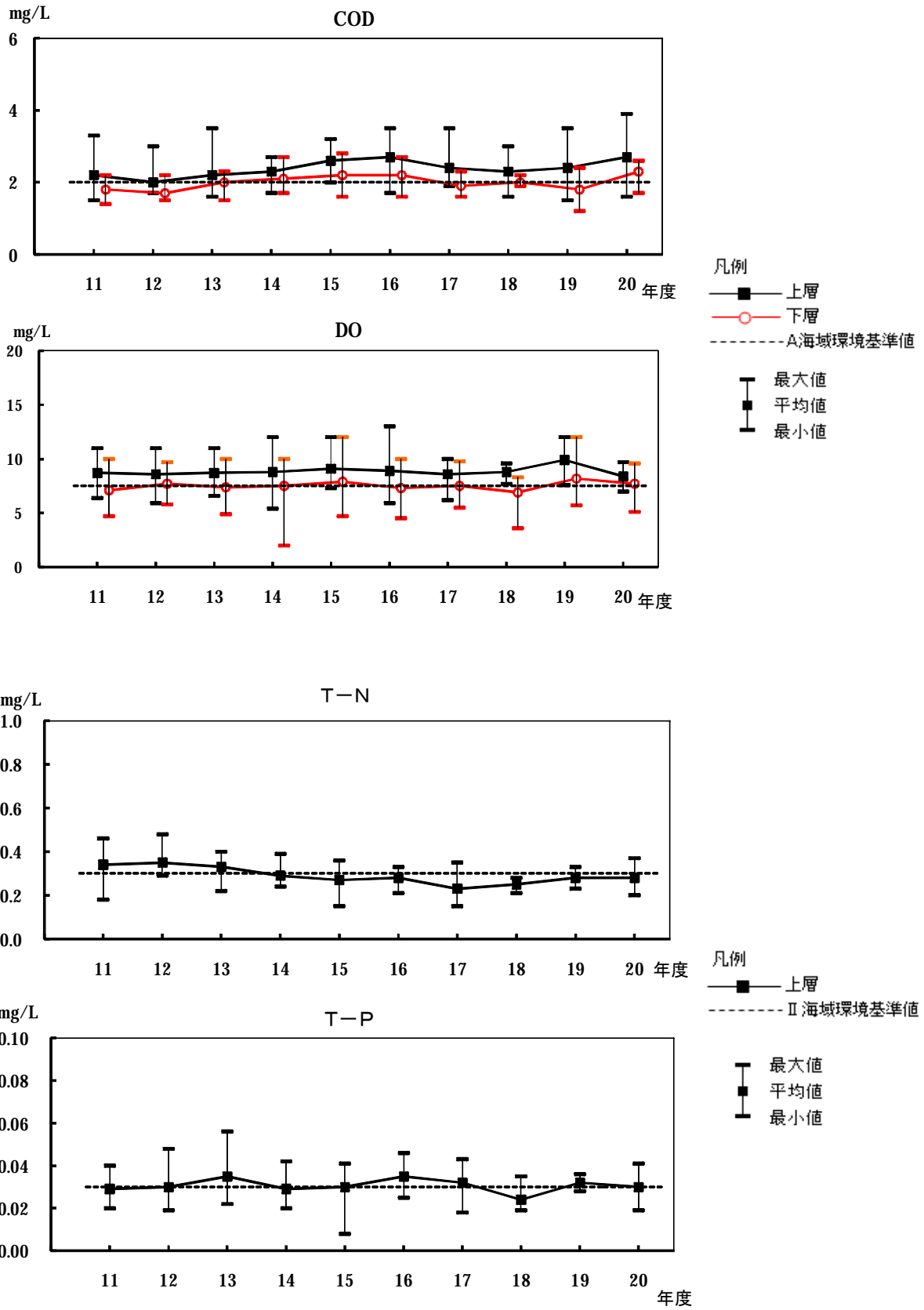


図2-3-2(2-3) 海域水質の経年測定結果 (C3)

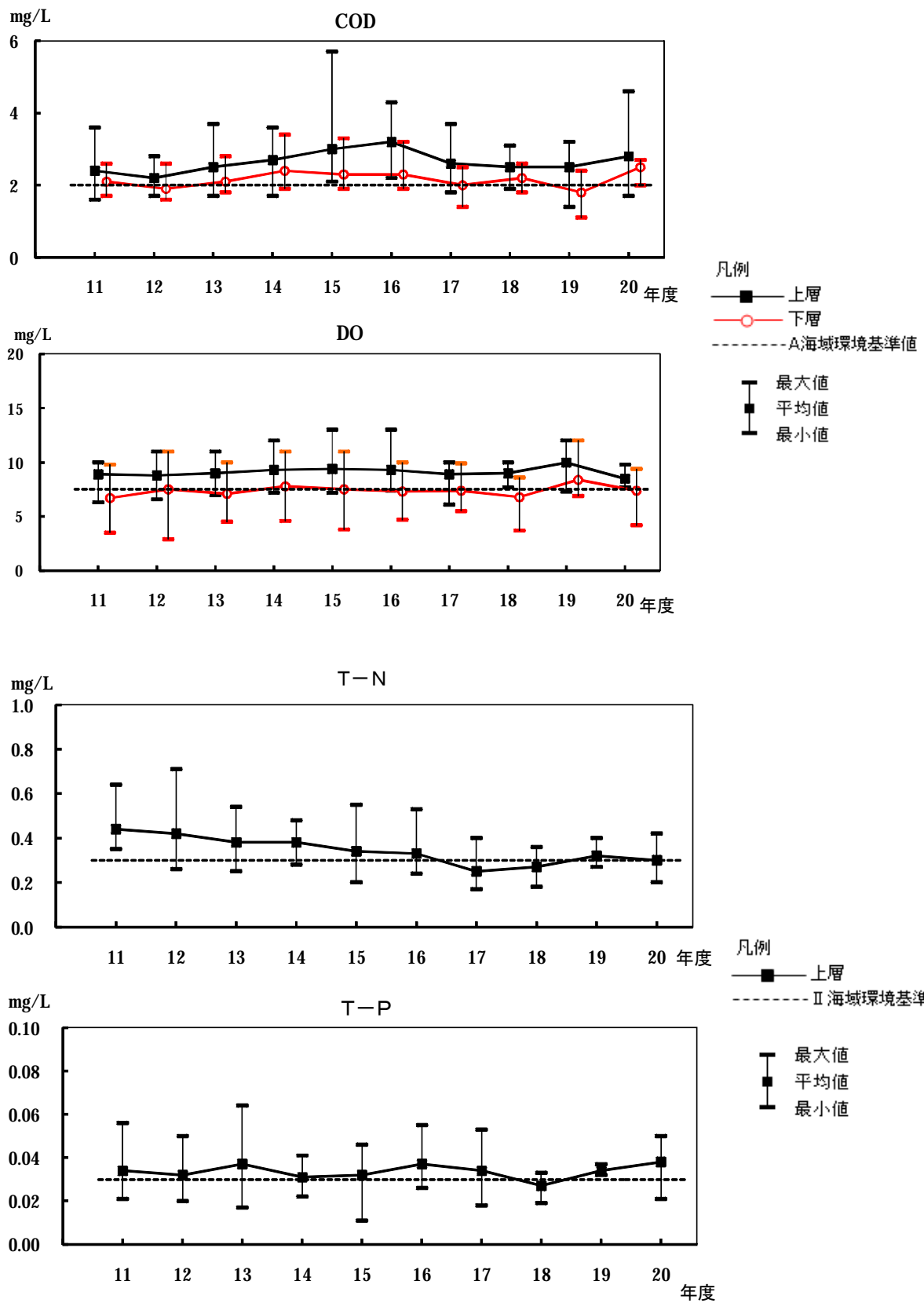
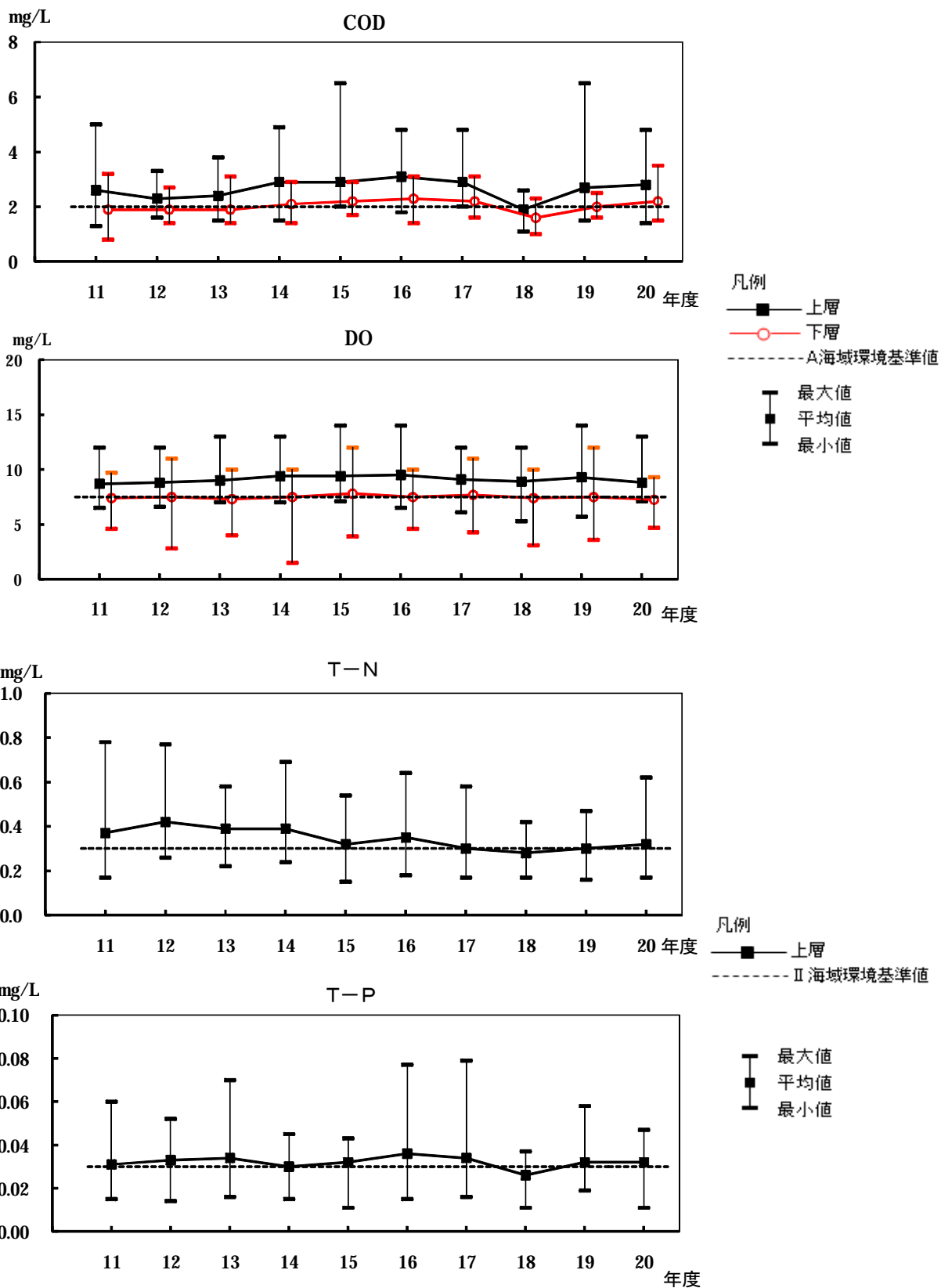


図2-3-2(2-4) 海域水質の経年測定結果 (C4)



(注) 大阪府が実施した大阪湾常時監視のうち、A-3、A-6、A-7、A-10の結果を用いた。

図2-3-2(2-5) 海域水質の経年測定結果 (大阪湾常時監視)

表2-3-3(1) 海域底質の経年測定結果（空港島周辺海域）

	地点数	COD(mg/g乾泥)		強熱減量(%)		硫化物(mg/g乾泥)				
		最小	～ 最大	平均値	最小	～ 最大	平均値	最小	～ 最大	平均値
昭和61年度	5	13	～ 34	28	2.4	～ 10	8.3	0.05	～ 0.18	0.14
昭和62年度	5	7.3	～ 37	28	2.1	～ 12	8.8	0.02	～ 0.39	0.18
昭和63年度	5	9.0	～ 32	20	3.1	～ 9.7	8.1	0.01	～ 0.34	0.15
平成元年度	5	2.9	～ 34	21	1.6	～ 9.9	7.9	0.09	～ 0.52	0.26
平成2年度	5	5.7	～ 26	18	2.2	～ 9.2	7.6	0.04	～ 0.62	0.32
平成3年度	5	6.6	～ 23	17	2.4	～ 8.9	7.6	0.14	～ 0.79	0.42
平成4年度	5	8.6	～ 24	19	2.8	～ 9.0	7.6	0.19	～ 0.91	0.51
平成5年度	5	12	～ 29	21	4.0	～ 9.1	7.6	0.21	～ 0.77	0.52
平成6年度	5→4	6.9	～ 19	14	3.5	～ 9.0	7.7	0.10	～ 0.69	0.43
平成7年度	4	15	～ 26	22	8.5	～ 9.7	9.1	0.17	～ 0.69	0.42
平成8年度	4	18	～ 27	22	7.5	～ 9.1	8.2	0.34	～ 0.84	0.59
平成9年度	4	15	～ 24	19	7.3	～ 9.2	8.5	0.30	～ 0.46	0.38
平成10年度	4	23	～ 39	30	8.3	～ 9.4	8.9	0.32	～ 0.84	0.54
平成11年度	4	11	～ 37	24	8.1	～ 9.6	9.0	0.28	～ 0.91	0.48
平成12年度	4	9.1	～ 32	21	6.8	～ 8.8	8.0	0.15	～ 0.51	0.29
平成13年度	4	11	～ 28	18	6.0	～ 9.5	8.2	0.20	～ 0.94	0.38
平成14年度	4	11	～ 21	15	7.0	～ 9.7	8.4	0.21	～ 1.2	0.47
平成15年度	4	7.4	～ 19	14	6.8	～ 9.4	8.2	0.24	～ 0.68	0.44
平成16年度	4	7.7	～ 21	15	6.7	～ 9.5	8.3	0.21	～ 0.85	0.53
平成17年度	4	11	～ 27	20	7.2	～ 10	8.7	0.29	～ 0.74	0.45
平成18年度	4	15	～ 20	18	7.0	～ 9.4	8.3	0.22	～ 0.63	0.41
平成19年度	4	12	～ 23	18	7.4	～ 11	9.0	0.25	～ 0.64	0.43
平成20年度	4	7.5	～ 27	19	7.2	～ 9.6	8.7	0.21	～ 0.33	0.27

- (注) 1. 平成6年9月(開港後)から調査地点を5地点から4地点に変更。
 2. 平成11年度から2期工事に伴い調査地点位置を変更。
 3. 調査は平成17年度までは年4回、平成18年度より年2回実施。

表2-3-3(2) 海域底質の経年測定結果（内部水面）

	地点数	COD(mg/g乾泥)		強熱減量(%)		硫化物(mg/g乾泥)				
		最小	～ 最大	平均値	最小	～ 最大	平均値	最小	～ 最大	平均値
平成18年度	3	3.8	～ 13	7.4	3.6	～ 8.4	5.2	0.16	～ 0.62	0.37
平成19年度	3	2.8	～ 16	8.8	3.1	～ 9.2	5.8	0.05	～ 0.77	0.44
平成20年度	3	2.7	～ 19	9.1	3.0	～ 8.7	5.4	0.08	～ 0.77	0.32

(注) 調査は年4回実施。

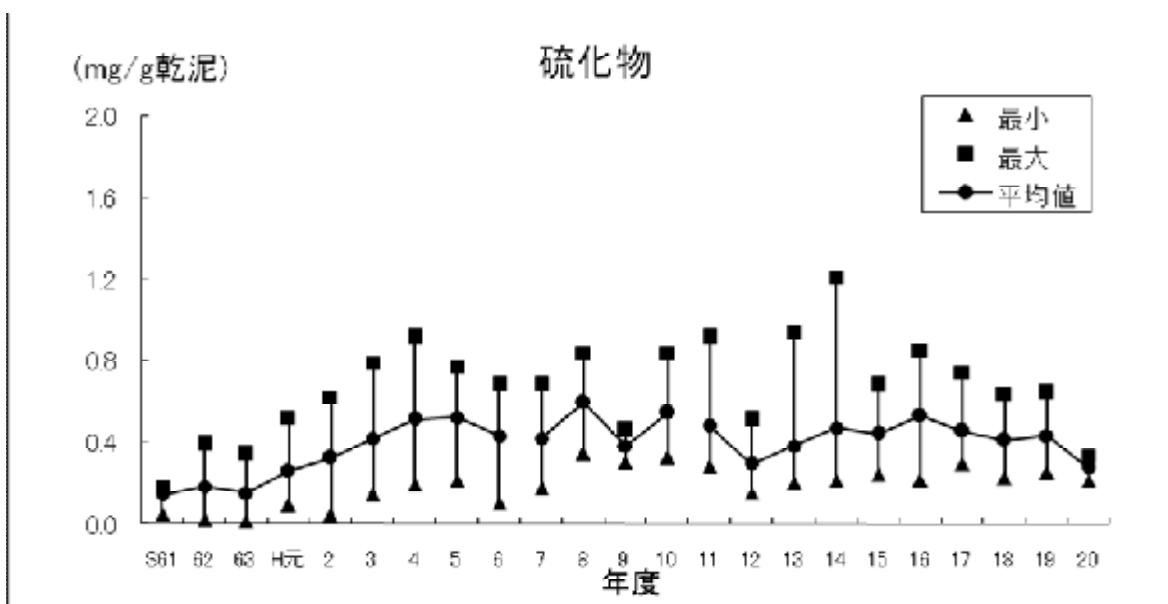
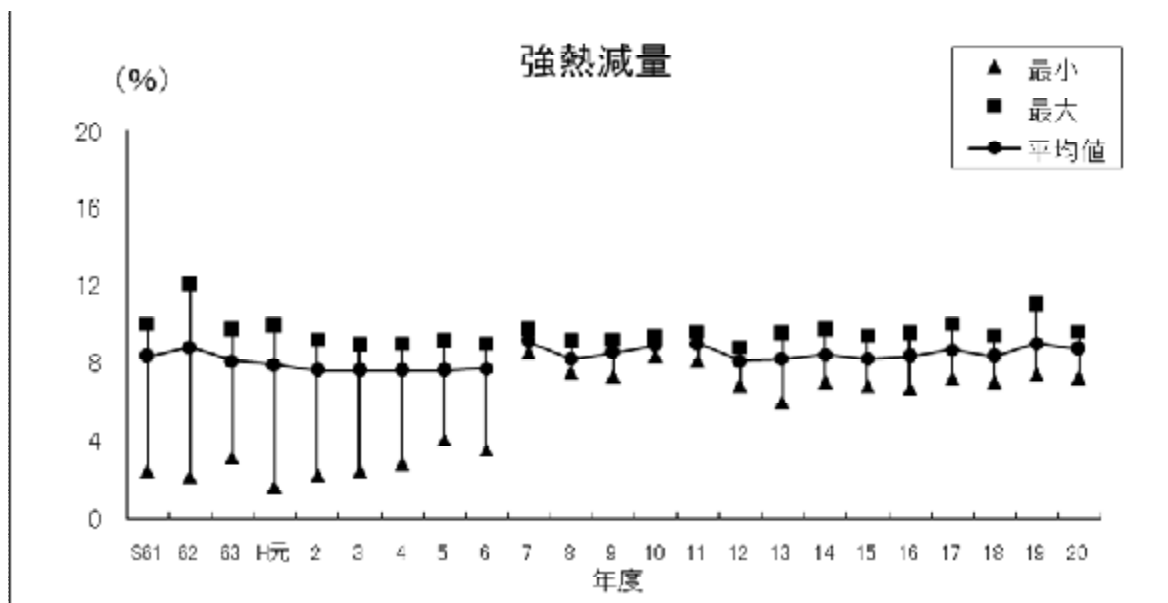
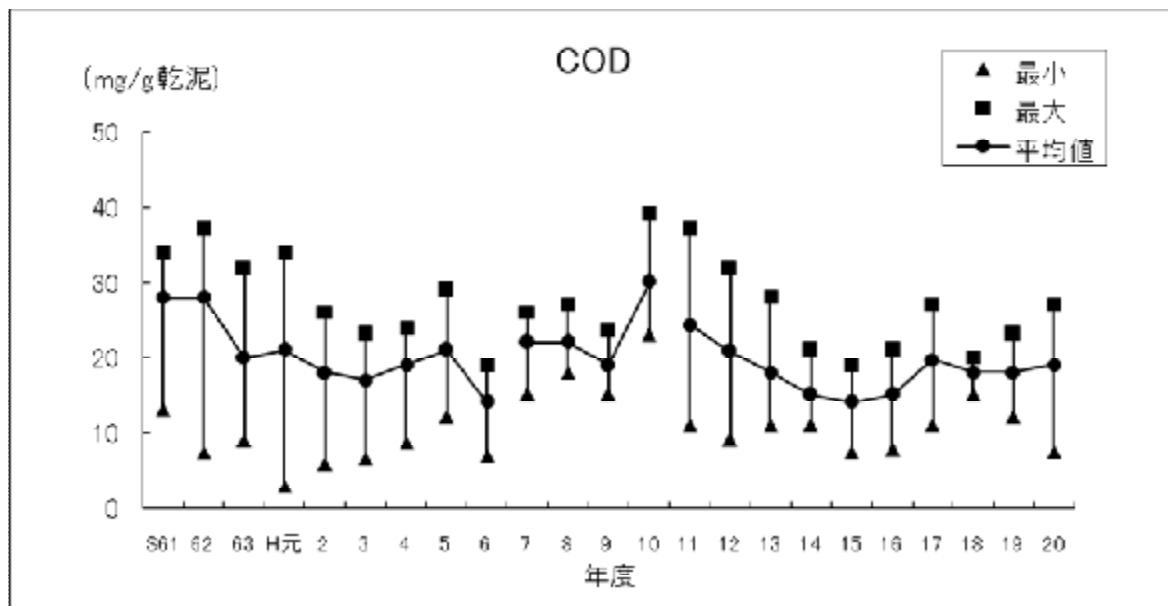


図2-3-3(1) 海域底質測定結果の経年変化 (空港島周辺海域)

表2-3-4(1) 航空機騒音の測定結果（常時測定）

測定地点		W E C P N L											
		平成20年										平成21年	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	離着陸機数 (日平均)	366	359	363	371	375	377	367	339	331	323	321	318
①泉大津市 汐見町	パワー平均	<50	50	51	50	50	<50	<50	52	51	50	<50	50
	最小	<50	<50	<50	<50	<50	<50	<50	<50	<50	-	<50	<50
	最大	55	57	60	61	56	53	55	59	57	56	52	56
	測定日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31
②泉佐野市 りんくう往来南	パワー平均	52	51	51	50	50	53	54	53	54	53	54	53
	最小	-	<50	-	-	-	<50	<50	<50	<50	<50	<50	<50
	最大	58	56	59	59	53	58	60	57	60	57	57	58
	測定日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31
③岬町 多奈川小島	パワー平均	60	59	58	56	57	57	59	59	58	57	58	59
	最小	52	53	54	52	50	<50	52	53	54	<50	<50	<50
	最大	62	65	61	59	61	61	62	62	60	61	61	62
	測定日数	30	31	30	31	31	30	30	30	31	31	28	31
⑧貝塚市 二色3丁目	パワー平均	54	53	53	<50	52	54	52	53	53	54	55	56
	最小	<50	<50	<50	-	<50	<50	-	-	<50	-	<50	<50
	最大	59	57	57	55	59	59	55	56	57	57	59	64
	測定日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31

(注) 表中の「-」は、暗騒音より10dB以上のピークレベルが検出できなかったことを示す。

表2-3-4(2) 航空機騒音の測定結果（定期測定）

測定地点	W E C P N L											
	平成20年									平成21年		
	6月			9月			12月			3月		
	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大
④堺市 南区庭代台	<50	<50	<50	<50	-	<50	<50	<50	<50	<50	-	<50
⑤高石市 高砂2丁目	-	-	-	-	-	-	<50	-	<50	<50	-	<50
⑥忠岡町 新浜3丁目	<50	-	<50	<50	-	<50	50	-	56	<50	-	52
⑦岸和田市 臨海町	<50	<50	52	50	<50	54	<50	-	<50	50	<50	53
⑨田尻町 りんくうポート南	<50	-	50	51	<50	55	52	<50	56	<50	<50	53
⑩泉南市 りんくう南浜	53	<50	56	54	<50	58	53	<50	58	53	-	58
⑪阪南市 箱作	54	<50	57	56	<50	60	50	<50	55	50	-	55
⑫和泉市 和田町	<50	-	<50	<50	-	<50	<50	-	<50	<50	-	<50
⑬熊取町 希望が丘	<50	-	<50	<50	-	<50	<50	-	<50	<50	-	<50

(注)1. 測定日数は7日間である。

2. 表中の「-」は、暗騒音より10dB以上のピークレベルが検出できなかったことを示す。

表2-3-4(3) 航空機騒音の経年変化（常時測定）

測定地点	項目 年度	W E C P N L (パワー平均)														
		H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
①泉大津市 汐見町		56	53	54	54	53	54	54	53	52	52	54	54	53	51	50
②泉佐野市 りんくう往来南		50	50	53	51	51	50	51	52	52	52	50	52	50	53	
③岬町 多奈川小島		62	62	62	62	63	63	63	62	62	61	62	61	61	60	58
⑧貝塚市 二色3丁目						55	54	54	53	54	54	54	53	54	53	

(注) ⑧貝塚市二色3丁目は平成10年12月3日から常時測定。

表2-3-4(4) 航空機騒音の経年変化（定期測定）

測定地点	項目 年度	W E C P N L (パワー平均)														備考	
		H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19		H20
④堺市	築港新町	<50	<50	<50	<50	—											平成10年12月から測定地点を変更
	南区庭代台					<50	<50	<50	<50	<50	<50	<50	<50	<50	<50	<50	
⑤高石市	高砂3丁目	<50	<50	51	51	<50											平成10年12月から測定地点を変更
	高砂2丁目					<50	<50	<50	<50	<50	<50	<50	<50	<50	<50	<50	
⑥忠岡町	新浜3丁目	55	53	57	55	55	53	52	53	52	51	53	54	52	50	<50	
⑦岸和田市	地藏浜町	55	55	54	57	59											平成10年12月から測定地点を変更
	臨海町					57	54	55	54	55	53	53	52	<50	<50	<50	
⑧貝塚市	二色3丁目	55	57	53	56	54											
⑨田尻町	りんくうポート南	57	54	52	55	54	54	56	53	54	55	55	52	55	53	50	
⑩泉南市	りんくう南浜	56	53	54	59	58	58	59	57	58	57	56	51	58	57	53	
⑪阪南市	箱作	53	52	52	56	55	54	56	52	53	54	54	<50	55	53	53	
⑫和泉市	府中町	—	—	<50	<50	<50											平成10年12月から測定地点を変更
	和田町					—	<50	<50	<50	<50	<50	<50	<50	<50	<50	<50	
⑬熊取町	野田	—															平成7年6月まで
	大久保		<50	<50	<50	<50											平成7年12月～平成10年6月まで
	希望が丘					<50	<50	<50	<50	<50	<50	<50	<50	—	<50	<50	平成10年9月から

- (注) 1. 表中の「—」は、暗騒音より10dB以上のピークレベルが検出できなかったことを示す。
 2. 測定地点⑧は平成10年9月まで実施。
 3. 測定地点④、⑤、⑫及び⑬の測定回数は平成14年度までと平成20年度は年4回、平成15年度から17年度は年2回、平成18年度は年1回、平成19年度は年3回実施。
 4. 測定地点⑥、⑦、⑨、⑩及び⑪の測定回数は平成16年度までと平成19年度、平成20年度は年4回、平成17年度と平成18年度は年2回実施。

表2-3-5(1) 植物プランクトンの調査結果（内部水面）[平成20年度]

項目	季節	春 季		夏 季			
	調査日	平成20年5月13日		平成20年8月5日			
	調査点数	2		2			
区 分	最 小 値	～ 最 大 値	平 均 値	最 小 値	～ 最 大 値	平 均 値	
種 類 数 [95]		26	～ 32	47	29	～ 43	62
細 胞 数 (Cells/L)		149220	～ 484800	284910	147960	～ 1304640	612062
沈 殿 量 (mL/L)		0.05	～ 0.11	0.08	0.12	～ 1.5	0.66
主 要 種 細 胞 数 (%)		スケレトネマ コスタタム 141000 (49.5)			ニッチア属(ブンゲンス型) 113040 (18.5)		
		ニッチア属(ブンゲンス型) 79360 (27.9)			ケラタウリナ ペラジカ 97840 (16.0)		
		プロロセントラム ミニマム 31760 (11.1)			リゾソレニア フラギリシマ 79440 (13.0)		
					キートセロス ディディマム 76120 (12.4)		
					キートセロス ディスタンス 67920 (11.1)		

項目	季節	秋 季		冬 季			
	調査日	平成20年11月5日		平成21年2月3日			
	調査点数	2		2			
区 分	最 小 値	～ 最 大 値	平 均 値	最 小 値	～ 最 大 値	平 均 値	
種 類 数 [95]		17	～ 24	35	20	～ 28	40
細 胞 数 (Cells/L)		22260	～ 90560	53003	87000	～ 166980	118870
沈 殿 量 (mL/L)		0.03	～ 0.07	0.04	0.07	～ 0.12	0.10
主 要 種 細 胞 数 (%)		ハプト藻綱 18040 (34.0)			ハプト藻綱 24320 (20.5)		
		スケレトネマ コスタタム 10000 (18.9)			ニッチア属(ブンゲンス型) 20000 (16.8)		
		クリプト藻綱 5800 (10.9)			スケレトネマ コスタタム 16000 (13.5)		
					デトヌラ プミラ 14600 (12.3)		
					ユーカンビア ゴディアカス 12300 (10.3)		

注1) 種類数の平均は総種類数を示す。また、[]内の数値は年間を通しての総種類数を示す。

注2) 主要種は各季での細胞数の上位5種のうち、組成比率が10%以上のものを示す。

表2-3-5(2) 動物プランクトンの調査結果（内部水面）

[平成20年度]

季節	春季	夏季	秋季	冬季
調査日	平成20年5月13日	平成20年8月5日	平成20年11月5日	平成21年2月3日
調査点数	2	2	2	2
種類数 [62]	最小値	21	23	29
	最大値	24	23	30
	平均値	31	29	36
個体数 (個体/m ³)	最小値	21020	33280	32460
	最大値	23280	39680	32740
	平均値	22150	36480	32600
沈殿量 (mL/L)	最小値	0.006	0.034	0.002
	最大値	0.010	0.037	0.005
	平均値	0.008	0.036	0.004
主要種 個体数(%)	橈脚亜綱のノブ [®] リス期幼生 6100 (27.5) アカルテア属のコペ [®] ボ [®] ダ [®] イト期幼生 3775 (17.0) オイト [®] 属のコペ [®] ボ [®] ダ [®] イト期幼生 3215 (14.5) アカルテア オモイ 2210 (10.0)	橈脚亜綱のノブ [®] リス期幼生 10800 (29.6)	オイト [®] 属のコペ [®] ボ [®] ダ [®] イト期幼生 5495 (16.9) ミクロセテラ属のコペ [®] ボ [®] ダ [®] イト期幼生 4975 (15.3) ミクロセテラ ノル [®] ェン [®] カ 4875 (15.0)	コリケウス属のコペ [®] ボ [®] ダ [®] イト期幼生 2425 (15.8) 橈脚亜綱のノブ [®] リス期幼生 2080 (13.5) パ [®] ラカラス パ [®] ル [®] ア [®] ス 1685 (11.0)

注1) 種類数の平均は総種類数を示す。また、[]内の数値は年間を通しての総種類数を示す。

注2) 主要種は各調査点での上位5種のうち、組成率が10%以上のものを示す。

表2-3-5(3-1) 底生生物の調査結果（空港島周辺海域）

[平成20年度]

項目		季節		春季		夏季		秋季		冬季	
		調査日		平成20年5月13日		平成20年8月5日		平成20年11月5日		平成21年2月3日	
		調査点数		4		4		4		4	
区分		最小値～最大値	平均値	最小値～最大値	平均値	最小値～最大値	平均値	最小値～最大値	平均値		
種類数	軟体動物門 [43]	6～11	24	2～14	18	3～10	13	1～13	15		
	環形動物門 [45]	10～19	30	3～17	24	3～11	17	6～19	27		
	節足動物門 [31]	1～15	18	1～10	12	0～6	9	0～10	14		
	その他 [16]	3～8	12	1～8	12	0～4	5	1～5	7		
	合計 [135]	22～53	84	9～46	66	6～31	44	10～47	63		
個体数	軟体動物門	23～302	121	18～148	66	13～366	115	6～58	23		
	環形動物門	15～82	51	9～185	91	5～133	46	10～174	71		
	節足動物門	1～37	12	1～35	12	0～9	4	0～28	11		
	その他	4～86	26	1～88	26	0～39	11	1～143	39		
	合計	108～400	210	33～355	195	19～547	176	21～403	144		
個体数比 (%)	軟体動物門	11.9～80.6	57.6	23.1～63.6	33.8	50.0～79.1	65.3	9.2～38.1	16.0		
	環形動物門	13.9～43.7	24.3	27.3～61.1	46.7	11.6～42.4	26.1	43.2～89.2	49.3		
	節足動物門	0.7～19.1	5.7	1.9～10.4	6.2	0.0～4.7	2.3	0.0～16.5	7.6		
	その他	2.5～44.3	12.4	3.0～26.1	13.3	0.0～7.1	6.3	1.5～35.5	27.1		
湿重量 (g)	軟体動物門	0.33～6.63	2.49	0.71～6.19	2.95	0.41～6.85	2.31	0.06～1.05	0.47		
	環形動物門	0.92～1.59	1.18	0.14～4.09	1.69	0.04～2.55	1.29	0.21～1.77	0.93		
	節足動物門	+～1.62	0.41	0.02～1.77	0.53	0.00～2.25	0.59	0.00～1.37	0.36		
	その他	0.54～29.39	8.38	0.01～37.55	11.46	0.00～6.47	1.74	0.02～1.89	1.03		
	合計	3.70～33.55	12.46	4.01～47.85	16.63	0.51～11.25	5.93	1.38～5.50	2.79		
主要種 個体数 (%)		シズクガイ 97(46.2)		カタマカリキホシイソメ 63(32.3) シズクガイ 44(22.6)		スミスシラガガイ 64(36.4) ヒメノコアサリ 33(18.8) カタマカリキホシイソメ 32(18.2)		カタマカリキホシイソメ 30(20.8) 星口動物門の一種 22(15.3) ウミサコムシ 15(10.4)			

注1) 個体数、湿重量は0.15m²当たりで示す。湿重量の+は0.01g未満を示す。

注2) 種類数の平均は総種類数を示す。また、[]内の数値は年間を通しての総種類数を示す。

注3) 主要種は各調査点での個体数の上位5種のうち、組成比率が10%以上のものを示す。

表2-3-5(3-2) 底生生物の調査結果（内部水面）

[平成20年度]

項目		季節		春季		夏季		秋季		冬季	
		調査日		平成20年5月13日		平成20年8月5日		平成20年11月5日		平成21年2月3日	
		調査点数		3		3		3		3	
区分		最小値～最大値	平均値	最小値～最大値	平均値	最小値～最大値	平均値	最小値～最大値	平均値	最小値～最大値	平均値
種類数	軟体動物門 [18]	3～4	8	2～3	5	1～8	9	1～6	8		
	環形動物門 [45]	8～15	24	6～16	22	11～19	25	12～16	25		
	節足動物門 [17]	0～6	8	0～2	2	1～5	7	1～8	10		
	その他 [15]	0～4	5	2～4	6	0～5	6	1～6	8		
	合計 [95]	11～29	45	10～23	35	13～37	47	15～36	51		
個体数	軟体動物門	3～39	17	19～52	37	2～57	21	1～31	15		
	環形動物門	79～178	138	29～281	165	175～231	199	115～199	160		
	節足動物門	0～38	15	0～84	28	1～33	20	1～19	10		
	その他	0～11	5	2～11	6	0～6	3	1～13	7		
	合計	82～244	175	83～326	236	178～327	243	160～247	192		
個組 体成 数比 (%)	軟体動物門	3.7～16.0	9.7	6.4～62.7	15.7	1.1～17.4	8.6	0.6～12.6	7.8		
	環形動物門	63.9～96.3	78.9	34.9～86.2	69.9	70.6～98.3	81.9	71.9～98.2	83.3		
	節足動物門	0.0～15.6	8.6	0.0～28.1	11.9	0.6～11.9	8.2	0.6～11.9	5.2		
	その他	0.0～4.5	2.9	1.5～3.7	2.5	0.0～1.8	1.2	0.6～8.1	3.6		
湿 重 量 (g)	軟体動物門	0.17～0.45	0.34	0.22～2.30	1.14	0.03～0.80	0.30	0.01～0.14	0.20		
	環形動物門	1.38～3.86	2.81	0.52～11.38	6.04	6.68～9.13	7.73	2.00～10.00	18.90		
	節足動物門	0.00～19.96	6.68	0.00～0.23	0.08	0.07～0.21	0.16	0.05～1.20	1.74		
	その他	0.00～1.69	0.60	0.07～3.88	1.40	0.00～9.15	3.31	0.00～23.95	24.36		
	合計	1.83～25.00	10.43	3.06～12.35	8.66	6.92～19.28	11.50	8.11～26.49	45.20		
主要種 個体数 (%)		カマカガリキホシソメ 83(47.4) クシカギゴカイ 18(10.3)	カマカガリキホシソメ 63(26.7) ミズヒキゴカイ 31(13.1) シズクガイ 26(11.0)	カマカガリキホシソメ 86(35.4) Paraprionospio sp. Typ e A 29(11.9)	カマカガリキホシソメ 64(33.3) Paraprionospio sp. Typ e A 37(19.3)						

注1) 個体数、湿重量は0.15m²当たりで示す。湿重量の+は0.01g未満を示す。

注2) 種類数の平均は総種類数を示す。また、[]内の数値は年間を通しての総種類数を示す。

注3) 主要種は各調査点での個体数の上位5種のうち、組成比率が10%以上のものを示す。

表2-3-5(4-1) 底生生物の経年出現種類数（空港島周辺海域）

年 度	6 1	6 2	6 3	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10
春(5月)		30	27	19	14	23	25	20	23	43	21	28	45
夏(8月)		18	25	18	11	18	17	20	25	22	18	38	29
秋(11月)		13	21	23	11	16	17	18	24	22	20	27	24
冬(2月)	23	21	21	21	14	19	19	18	24	23	28	41	38

年 度	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
春(5月)	68	66	63	49	73	78	67	27	69	84
夏(8月)	60	43	53	42	59	79	49	42	40	66
秋(11月)	67	35	41	40	69	62	54	27	37	44
冬(2月)	53	38	50	54	84	66	73	69	36	63

(注) 平成10年度までは5地点、平成16年度までは7地点、平成17年度より4地点で調査。

表2-3-5(4-2) 底生生物の経年出現種類数（内部水面）

年 度	18	19	20
春(5月)	29	47	45
夏(8月)	37	38	35
秋(11月)	39	32	47
冬(2月)	47	46	51

(注) 平成18年度より3地点で調査。

表2-3-5(5-1) 底生生物個体数の地点別経年変化（春季：5月）

調査月：春季 5月

	No. 1										No. 2										
	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	
種類数 計	14	15	18	10	10	12	14	6	16	22	21	16	12	15	15	11	11	7	19	23	
個体数 計	37	123	758	25	54	43	721	20	321	135	220	143	96	39	58	93	383	25	198	108	
主 要 種	Euchone spp.													5							
	Glycinde属の一種																				
	Gyptis属の一種							3													
	Paraprionospio sp. Type A			512						186											
	Paraprionospio sp. Type B					11								9							
	Poecilochaetus sp.	5													9						
	エーレルシスビオ													4							
	オウギゴカイ							2													
	オカメブク	6			10																
	カタマガリギボシイソメ				4					31											
	シズクガイ	12	92	172		21	25	696	12	73	65	179	102	70	8	32	80	352	16	166	76
	スナクモヒトデ科の一種																				
	ダルマゴカイ																		3		
	チマキゴカイ科の一種																				
	チヨノハナガイ																				
	ドロヨコエビ																				
	ニカイチロリ科の一種																				
	ニセタマグシフサゴカイ																				
ブクヤドリガイ科																					
ユンボソコエビ科の一種																					
ヨコヤマキセワタガイ					9																
星口動物門の一種																					

	No. 3										No. 4									
	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
種類数 計	13	21	13	19	36	34	48	12	44	53	14	12	28	18	16	24	26	20	28	33
個体数 計	40	420	104	48	109	91	230	91	150	194	144	63	298	68	45	78	461	56	162	400
主 要 種	Euchone spp.			7									74							
	Glycinde属の一種								15											
	Gyptis属の一種																			
	Paraprionospio sp. Type A																			
	Paraprionospio sp. Type B																		20	
	Poecilochaetus sp.																			
	エーレルシスビオ																			
	オウギゴカイ																			
	オカメブク	5									19	29								
	カタマガリギボシイソメ								18					26				19		
	シズクガイ	19	311	72	11			46	56		101		112		8	30	300		69	245
	スナクモヒトデ科の一種						13													
	ダルマゴカイ								14							19				
	チマキゴカイ科の一種						12													
	チヨノハナガイ																	80		
	ドロヨコエビ																		6	
	ニカイチロリ科の一種													8						
	ニセタマグシフサゴカイ								21											
ブクヤドリガイ科											16									
ユンボソコエビ科の一種						20														
ヨコヤマキセワタガイ				8											5					
星口動物門の一種									43											

(注) 主要種は各調査点での個体数の上位5種のうち、組成比率が10%以上のものを示す。

表2-3-5(5-2) 底生生物個体数の地点別経年変化（夏季：8月）

調査月：夏季 8月

	No. 1										No. 2										
	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	
種類数 計	16	14	14	3	9	9	12	2	13	9	6	7	15	10	12	11	11	6	13	9	
個体数 計	31	175	140	5	34	38	131	2	67	54	14	7	39	34	79	12	130	33	22	33	
主 要 種	Alpheus属の一種																				
	Glycera属の一種																				
	Glycide属の1～数種				1									4							
	Listriella属の一種																				
	Parapriionospio sp. Type A		138	120					1	26					6						
	Parapriionospio sp. Type B					5															
	Sigambra属の一種					5									1						
	Sthenelasis属の一種																				
	Sthenolepis spp. (属の一種含む)														1						
	イトゴカイ科の一種								1						1						
	ウメノハナガイ																				
	ウミケムシ科の一種									7										5	
	オカメブク				2							5								4	
	カキクモヒトデ																				
	カタマガリギボシソメ				2										6						
	キセワタガイ																				
	クシカギゴカイ									18					4						
	ケシトリガイ																				
	コノハシロガネゴカイ														1						
	シズクガイ	14				17	26	115		17				4	14	63		115	28	4	18
	タケフシゴカイ科の一種																				
	ダルマゴカイ																				
	ツメタガイ																				
ドロヨコエビ																					
ニカイチロリ科の一種																					
ハナギンチャク科の一種														1							
ブンブクヤドリガイ科の一種											5										
星口動物門の一種																					
ムシモドネイソギンチャク科の一種														1							
ヨコヤマキセワタガイ																2					

	No. 3										No. 4										
	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	
種類数 計	16	5	8	10	20	37	29	30	14	46	10	8	18	18	19	20	19	22	22	30	
個体数 計	28	25	16	18	34	135	59	132	107	337	38	16	35	58	37	98	71	164	63	355	
主 要 種	Alpheus属の一種													1							
	Glycera属の一種					5															
	Glycide属の1～数種				3			6	15									8			
	Listriella属の一種													7							
	Parapriionospio sp. Type A																				
	Parapriionospio sp. Type B				2																
	Sigambra属の一種																				
	Sthenelasis属の一種				2																
	Sthenolepis spp. (属の一種含む)					5															
	イトゴカイ科の一種																				
	ウメノハナガイ																	17			
	オカメブク	3										22	4								
	カキクモヒトデ							14													
	カタマガリギボシソメ				3	7	14		17					14	7			20	37	21	141
	キセワタガイ		6																		
	クシカギゴカイ				2													9			
	ケシトリガイ																20				
	コノハシロガネゴカイ																				
	シズクガイ	4	14	2	4				88		6	5			10				9	142	
	スミスシラケガイ									54											
	タケフシゴカイ科の一種							6													
	ダルマゴカイ								15										27		
	ツメタガイ																				
ドロヨコエビ							14					2						48			
ニカイチロリ科の一種															4						
ハナギンチャク科の一種																					
ブンブクヤドリガイ科の一種																					
星口動物門の一種							18		48												
ムシモドネイソギンチャク科の一種																					
ヨコヤマキセワタガイ		3		2																	

(注) 主要種は各調査点での個体数の上位5種のうち、組成率が10%以上のものを示す。

表2-3-5(5-3) 底生生物個体数の地点別経年変化 (秋季：11月①)

調査月：秋季 11月

	No. 1										No. 2									
	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
種類数 計	15	9	8	6	7	2	12	7	2	6	9	6	9	4	10	3	15	1	7	10
個体数 計	90	832	9	20	47	3	22	286	2	19	35	11	11	7	11	3	20	3	10	43
主 要 種	Alpheus属の一種																			
	Glycinde属の一種			1				3										2		
	Linopherus属の一種								1											
	Mediomastus属の一種																			
	Paraprionospio sp. Type A	40	808	2	2			236												
	Paraprionospio sp. Type B	24			14			7			4	2						2		
	Sthenelasis属の一種																	2		
	Sthenolepis spp.										13	5		4						
	Sthenolepis属の一種									4										2
	アカウオ																1			
	イカリナマコ科 spp.												2							
	イカリナマコ科の一種																			
	エーレルシスビオ																			1
	オカメブシ																			1
	カタマカリギボシイソメ			1																
	カドソコシラエビ																1			
	キタユムシ科の一種																			
	クシカギゴカイ			1										1						1
	クチキレガイ																			
	クビナガスガメ																			
	ゴカイ科の一種							1												
	コノハシロガネゴカイ																			
	サシバゴカイ科の数種			1																
	サンカクフジツボ																			
	シズクガイ			1		39	2													3
	シマメノウフネガイ																			
	スミスシラゲガイ																			
	ソコシラエビ			1																
	ダルマゴカイ																	2		
	ツガイ																1			1
	ツバサゴカイ科の一種													1						
ツメタガイ												2								
ドロヨコエビ																				
ハナギンチャク科の一種								1												
ヒメカノコアサリ									11	10				2		2			31	
ヒメムツアシガニ																			1	
紐型動物門 spp.			1																	
ブシヤドリガイ科の一種																			3	
星口動物門の一種																				
マメウラシマガイ														1						

(注) 主要種は各調査点での個体数の上位5種のうち、組成比率が10%以上のものを示す。

表2-3-5(5-3) 底生生物個体数の地点別経年変化 (秋季：11月②)

調査月：秋季 11月

	No. 3											No. 4									
	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	
種類数 計	16	5	11	10	31	30	30	18	21	31	17	2	7	11	7	10	22	18	14	23	
個体数 計	44	13	31	14	84	89	153	30	86	547	132	8	9	23	12	68	68	59	23	92	
主 要 種	Alpheus属の一種													1							
	Glycinde属の一種							16												3	
	Linopherus属の一種																			3	
	Mediomastus属の一種						10														
	Parapriionospio sp. Type A															52					
	Parapriionospio sp. Type B				9													22			
	Sthenelasis属の一種																				
	Sthenolepis spp.	6	8		2								7								
	Sthenolepis属の一種																				
	アカウオ																				
	イカリナマコ科 spp.													2	3						
	イカリナマコ科の一種																			3	
	エーレルシスピオ																				
	オカメブンプク																				
	カタマギリギボシイソメ					10			6									9	9	3	23
	カドソコシラエビ				3																
	キタユムシ科の一種				2																
	クシカギゴカイ														1						
	クチキレガイ																				
	クビナガスガメ															4					
	ゴカイ科の一種																				
	コノハシロガネゴカイ														2						
	サシバゴカイ科の数種																				
	サンカクフジツボ					18															
	シズクガイ	9	2	4							60	1									
	シマメノウフネガイ							24													
	スミスシラゲガイ							59		47	250										
	ソコシラエビ																				
ダルマゴカイ																					
ツガイ																					
ツバサゴカイ科の一種																					
ツメタガイ																					
ドロヨコエビ																	14				
ハナギンチャク科の一種																					
ヒメカノコアサリ	12		5												3					32	
ヒメムツアシガニ																					
紐型動物門 spp.														1							
ブンプクヤドリガイ科の一種										14			1								
星口動物門の一種						9															
マメウラシマガイ	5																				

(注) 主要種は各調査点での個体数の上位5種のうち、組成比率が10%以上のものを示す。

表2-3-5(5-4) 底生生物個体数の地点別経年変化 (冬季：2月①)

調査月：冬季 2月

	No. 1										No. 2									
	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
種類数 計	5	8	15	9	17	13	8	14	7	14	8	9	10	4	10	17	18	6	8	10
個体数 計	11	289	30	18	45	47	15	283	9	65	15	39	14	5	22	32	28	9	9	21
主	Corophium属の一種																			
	Euchone属の一種																			
	Glycinde属の1~数種																			
	Parapriostosio sp. Type A	7	267		2	10		256	1											
	Parapriostosio sp. Type B			5	9		12		2	15				1					1	
	Prinospio属の一種																			
	Pseudopolydora属の一種								2											1
	Sthenelasis属の一種												5							
	Sthenolepis spp. (属の一種含む)										5	7			6					
	Synchelidium属の一種																	1		
	アカウオ																			1
	イカリナマコ科の1~数種																			
	ウミイサゴムシ																			2
	エーレルシスピオ																			1
	オウギゴカイ						2		1						4			1		
	オカメブソク																			
	カタマガリギボシイソメ			9						21										
要	カドソコシラエビ													1						
	クシカギゴカイ																	1		
	クシノハクモヒトデ																			
種	コノハシロガネゴカイ																3			
	サンカクフジツボ																			
	シズクガイ				7	13	7		1			8		2	3	13	6	3	1	
	チヨノハナガイ																	1		
	ツガイ																	2		
	ドロヨコエビ																			
	ハナムシロガイ			3																
	ヒメカノコアサリ										4									8
	紐型動物門の一種													1						
	ブソクヤドリガイ科の一種											16							1	
	星口動物門の一種																			
	ムラサキハナギンチャク							1												
	ユンボソコエビ科の一種																			
	ヨコヤマキセワタガイ								1											
	ラスバンマメガニ																			1

(注) 主要種は各調査点での個体数の上位5種のうち、組成比率が10%以上のものを示す。

表2-3-5(5-4) 底生生物個体数の地点別経年変化 (冬季：2月②)

調査月：冬季 2月

	No. 3										No. 4										
	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	
種類数 計	14	8	14	16	45	29	56	60	16	47	7	7	17	21	19	14	14	20	17	21	
個体数 計	58	31	31	28	130	67	181	332	32	403	53	52	76	336	37	40	33	81	34	85	
主 要 種	Corophium属の一種			6																	
	Euchone属の一種			4								42									
	Glycynde属の1～数種				3											5	5				
	Parapriostosio sp. Type A														240						
	Parapriostosio sp. Type B													15		13		36			
	Priostosio属の一種				3																
	Pseudopolydora属の一種																				
	Sthenelasis属の一種				4																
	Sthenolepis spp. (属の一種含む)	6	14		4						6										
	Synchelidium属の一種																				
	アカウオ																				
	イカリナマコ科の1～数種												12								
	ウミイサゴムシ									58											
	エーレルシスピオ																				
	オウギゴカイ				3																
	オカメブク										23										
	カタマガリギボシイソメ								12	80			15				14		16	18	
	カドソコシラエビ																				
	クシカギゴカイ																				
	クシノハクモヒトデ			4																	
	コノハシロガネゴカイ	8																			
	サンカクフジツボ					33															
	シズクガイ	15	8				8														
	スナクモヒトデ科の一種												43								
	チヨノハナガイ						7														
	ツガイ																				
	ドロヨコエビ												21								
	ハナムシロガイ																				
ヒメカノコアサリ	15					12								34						15	
紐型動物門の一種																					
ブクヤドリガイ科の一種										18											
星口動物門の一種							43		80												
ムラサキハナギンチャク																					
ユンボソコエビ科の一種					14		24	53													
ヨコヤマキセワタガイ																					
ラスバンマメガニ																					

(注) 主要種は各調査点での個体数の上位5種のうち、組成比率が10%以上のものを示す。

表2-3-5(6) 漁業生物の調査結果

[平成20年度]

項目		季節	春季		夏季		秋季	
		調査日	平成20年5月14日		平成20年8月6日		平成20年11月6日	
		調査点数	4		4		4	
区分		最小値～最大値	平均値	最小値～最大値	平均値	最小値～最大値	平均値	
種類数	魚類 [19]	4～6	11	3～9	12	3～4	9	
	甲殻類(エビ・カニ類) [9]	1～4	5	2～7	8	3～4	6	
	頭足類(イカ・タコ類) [5]	0～0	0	1～2	4	0～1	2	
	その他 [0]	0～0	0	0～0	0	0～0	0	
	合計 [33]	6～9	16	9～18	24	6～9	17	
個体数	魚類	5～12	8	19～72	37	8～13	11	
	甲殻類(エビ・カニ類)	1～62	20	8～271	100	5～8	7	
	頭足類(イカ・タコ類)	0～0	0	1～6	3	0～1	1	
	その他	0～0	0	0～0	0	0～0	0	
	合計	8～74	28	30～345	140	17～21	19	
重量(g)	魚類	701.5～6011.6	2646.4	120.2～760.6	405.4	409.2～1875.3	858.8	
	甲殻類(エビ・カニ類)	3.6～227.2	75.0	49.1～1590.8	627.9	9.7～1085.4	332.0	
	頭足類(イカ・タコ類)	0.0～0.0	0.0	317.2～1434.6	858.5	0.0～257.4	92.1	
	その他	0.0～0.0	0.0	0.0～0.0	0.0	0.0～0.0	0.0	
	合計	734.4～6015.2	2721.4	1292.1～2668.6	1891.8	675.1～1984.8	1282.9	
主要種 個体数(%)		トラエビ ^① 7 (25.0)		シヤコ 41 (29.3)		タマガンゾウウヒ ^② ラメ 8 (42.1)		
		アカエビ ^① 6 (21.4)		アカエビ ^① 26 (18.6)		サルエビ ^③ 3 (15.8)		
		サルエビ ^① 5 (17.9)		テンジクダイ 22 (15.7)				
				トラエビ ^① 20 (14.3)				

注1) 個体数、湿重量は1網当りで示す。

注2) 種類数の平均は総種類数を示す。また、[]内の数値は年間を通しての総種類数を示す。

注3) 主要種は各測定点での個体数の上位5種のうち、組成比率が10%以上のものを示す。

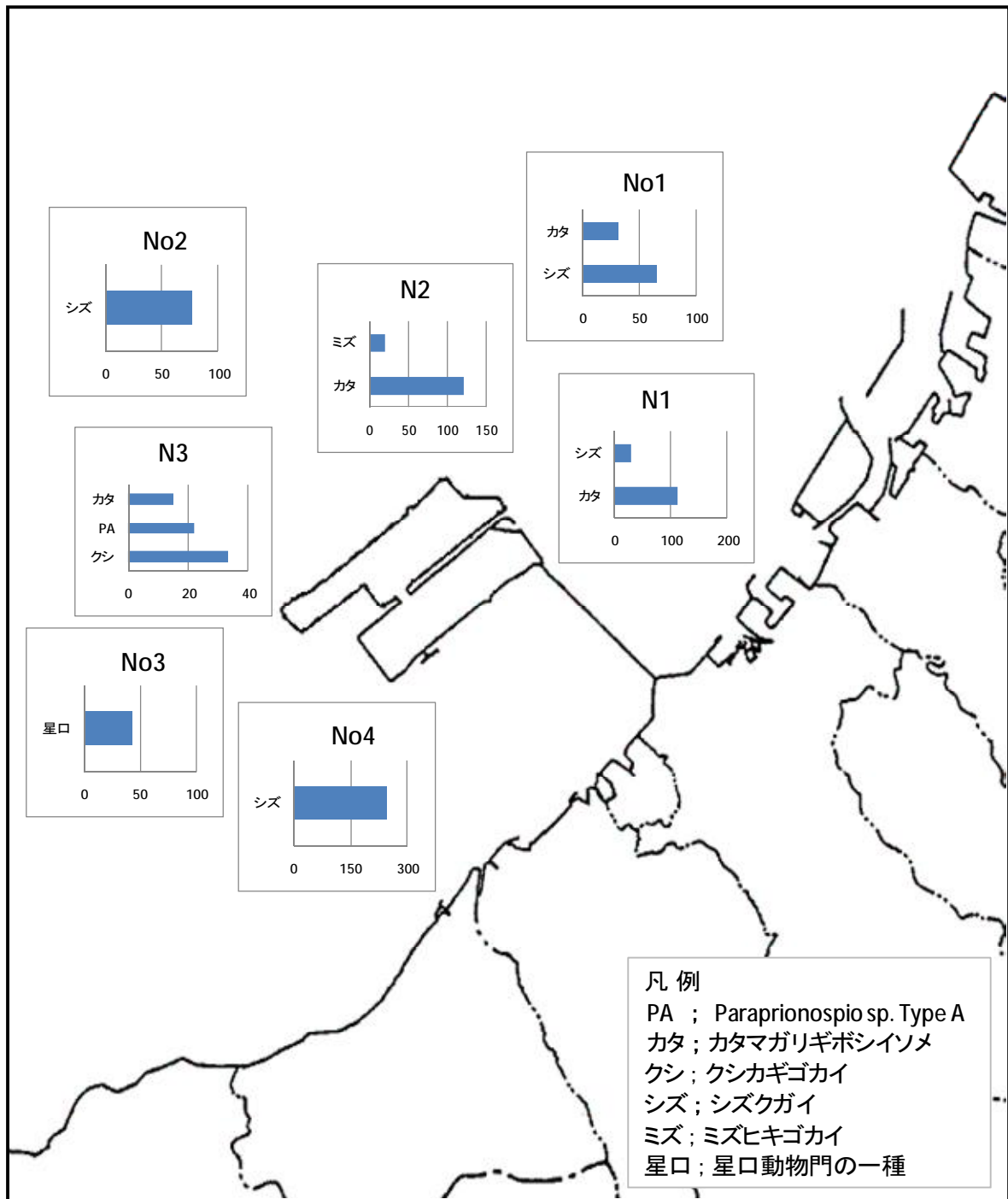


図2-3-5(1-1) 底生生物の地点別出現種類数(春季：5月)

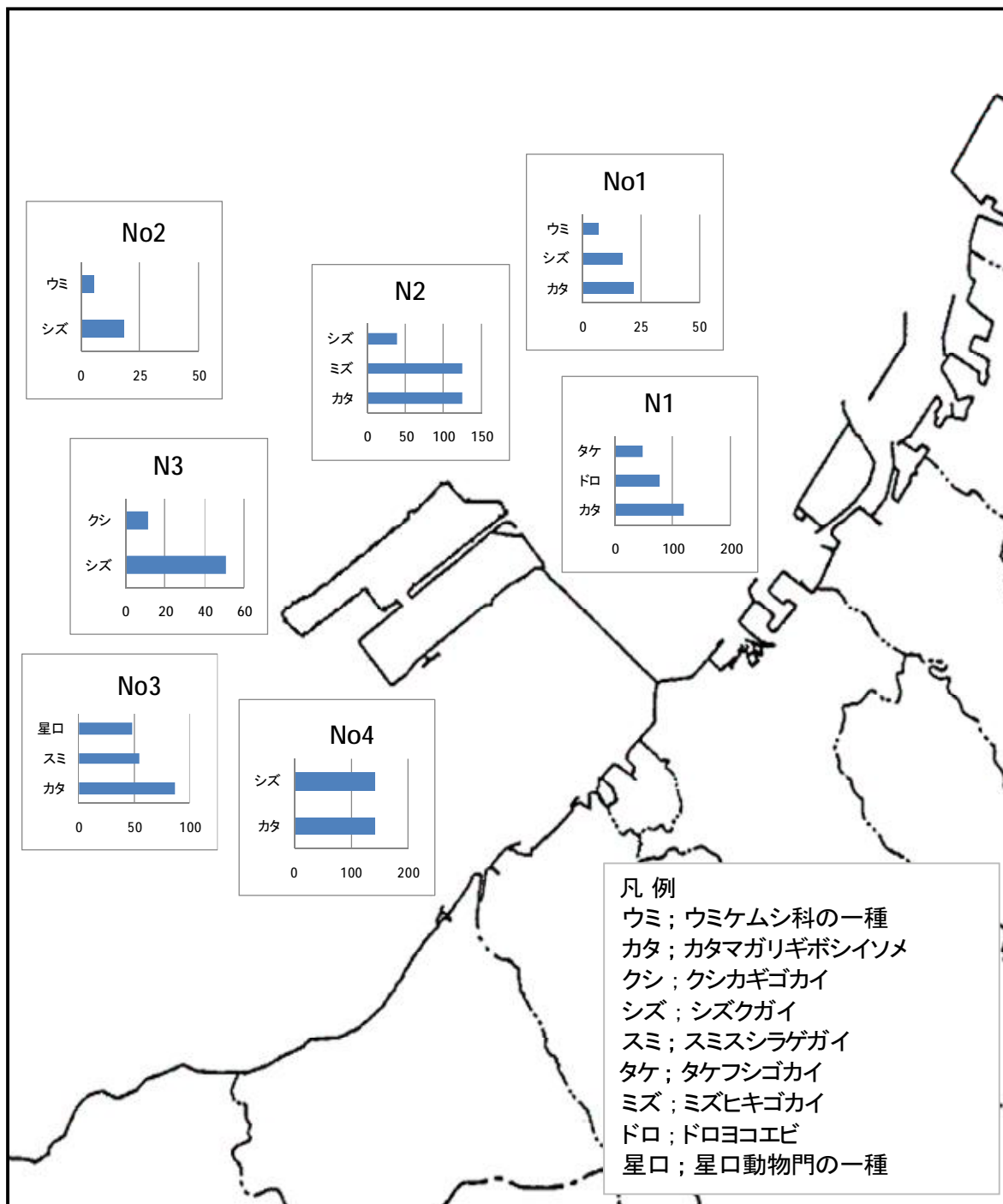


図2-3-5(1-2) 底生生物の地点別出現種類数(夏季：8月)

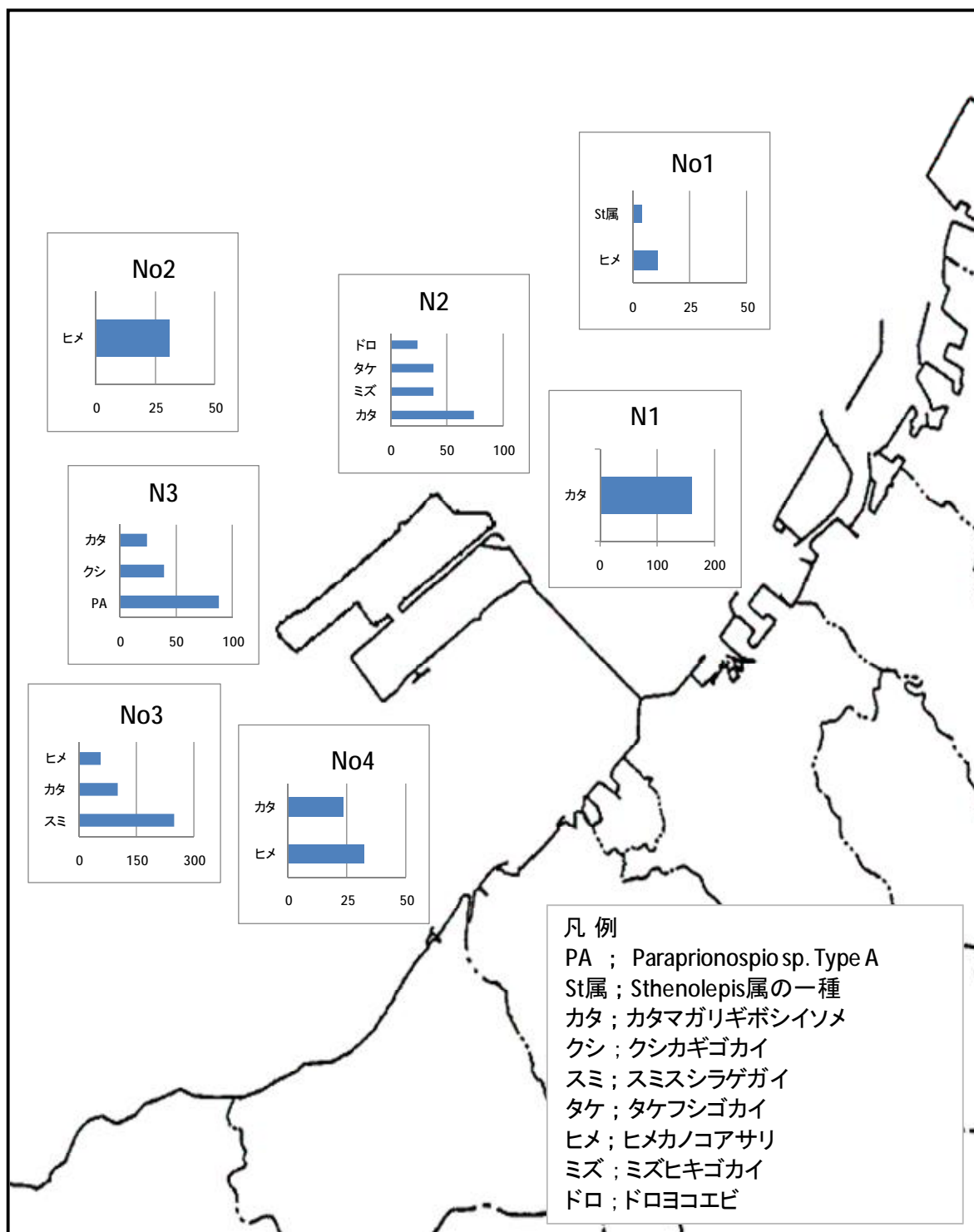


図2-3-5(1-3) 底生生物の地点別出現種類数(秋季：11月)

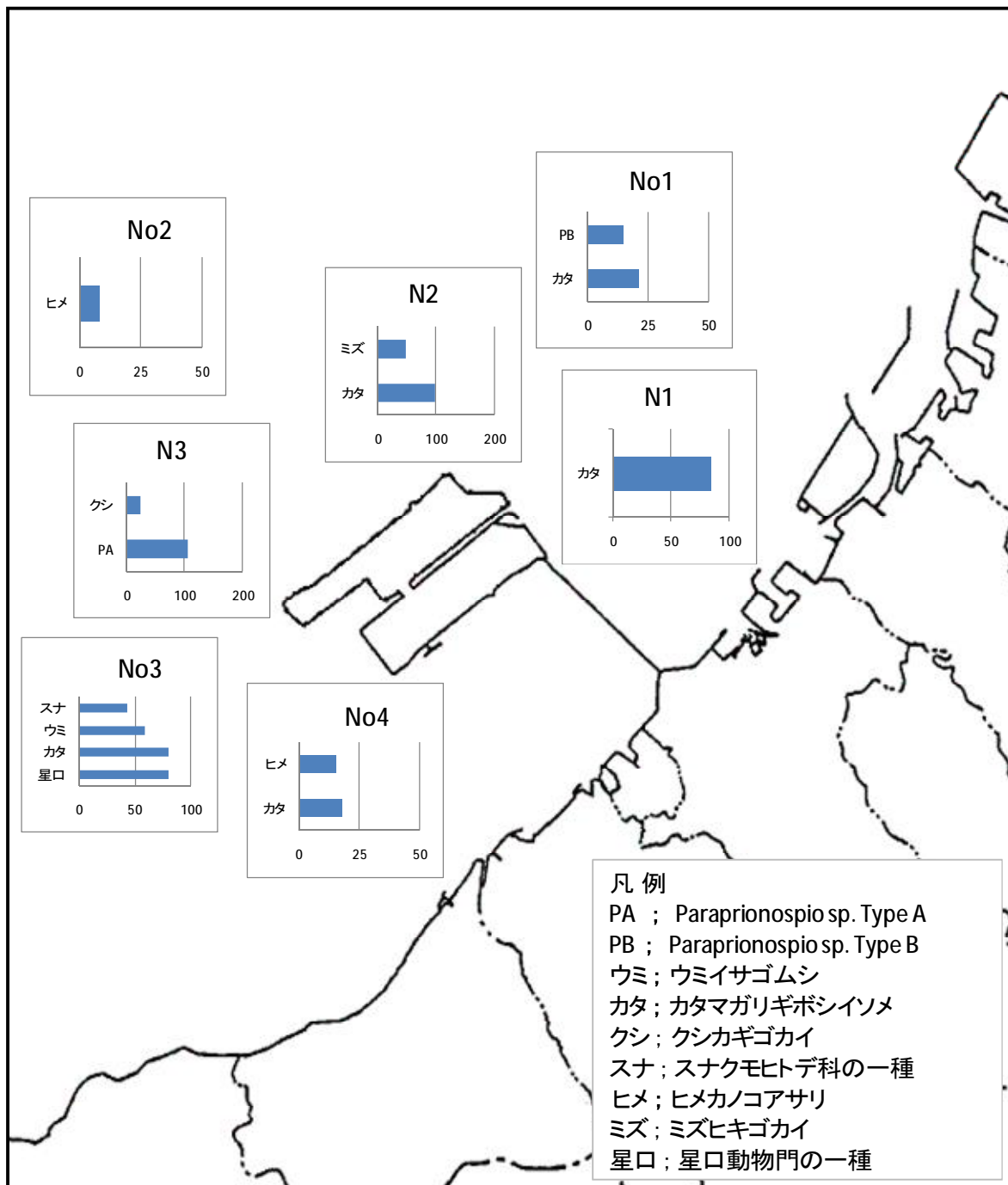


図2-3-5(1-4) 底生生物の地点別出現種類数(冬季：2月)